

2022年1月13日

報道関係各位

 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
 広報サステナビリティ推進部: 呉藤・佐藤
 (問合せ先: 03-6887-1274)

20代の金銭感覚についての意識調査 2022

20代の毎月のお小遣い 平均 32,560 円、前回調査から 3,162 円増加

20代の貯蓄額は平均 68 万円、前回調査から 4 万円減少

「現在の貯蓄状況に不安を感じている」76.9%、前回調査から 19.2 ポイントの大幅上昇

リタイア時にあれば安心できる貯蓄金額は平均 2,322 万円、前回調査から 438 万円増加

サブスク消費拡大、サブスクサービスにお金をかけている 20代は 47.1%、かけている金額の全体平均は 1,468 円/月

コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいもの 「旅行・観光」がダントツ、2位「外食」3位「ライブ・コンサート」

20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収 500 万円」、前回調査からハードルが下降

「70歳以降も働いていると思う」20代有職者の 3人に 2人

10代のうちに学んでおけばよかったと思うお金の知識

TOP5「資産形成・資産運用」、「生活設計」、「保険・リスク管理」、「ローン・クレジットの仕組み」、「家計管理」

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社(代表取締役社長:金子 良平、<http://www.smbc-cf.com/>、サービスブランド「プロミス」)は、2021年12月3日~4日の2日間、20歳~29歳の男女を対象に「20代の金銭感覚についての意識調査2022」(*)をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

*前回調査である「20代の金銭感覚についての意識調査 2021」は 2020 年 11 月に調査(2021 年 1 月 14 日発表)しております。

- TOPICS -

【20代のお小遣い・貯蓄事情】 P.3~P.10

- ≫ 20代の毎月のお小遣い 平均 32,560 円、前回調査から 3,162 円増加
- ≫ 20代の貯蓄額は平均 68 万円、前回調査から 4 万円減少
既婚者では平均 105 万円、前回調査から 21 万円の大幅減少
- ≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」76.9%、前回調査から 19.2 ポイントの大幅上昇
- ≫ 「老後の生活資金は年金だけで十分だと思わない」89.9%、女性では 95.0%
- ≫ 老後の生活に対する意識 「老後が不安」74.3%
- ≫ リタイア時にあれば安心できる貯蓄金額は平均 2,322 万円、前回調査から 438 万円増加
- ≫ 毎月の貯蓄状況 「預貯金をしている」58.3%、預貯金している金額は平均 39,657 円/月
「貯蓄型保険に加入している」19.1%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 17,741 円/月
- ≫ 預貯金をする理由 1位「万が一のときの備えとして」2位「老後の生活費のため」3位「旅行・レジャー費用のため」
- ≫ 貯蓄のために我慢することがあるもの 1位「外食」2位「ファッション」3位「おやつ」4位「飲み会」5位「旅行・観光」

【20代の消費意識と消費実態】 P.11~P.23

- ≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額は平均 39,908 円/月、女性では婚姻状況で 19,098 円と大きな金額差
- ≫ 20代が趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額は平均 20,849 円/月
- ≫ 20代がお金をかけたいと思うこと 1位「旅行・観光」2位「友人との交際」3位「ファッション」4位「恋愛」5位「外食」

- >> **ゲーム課金に対する意識**
 「お金を使ってもゲームを有利に進めたい」14.4%、「お金を使わないと楽しく遊べない」19.3%
 「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」17.9%、「レアアイテム・キャラを入手すると誇らしい」44.5%
- >> **ゲーム課金実態** ゲーム課金をしている 20代は 18.4%、かけている金額は平均 4,804 円/月
- >> 「ゲーム課金しすぎて生活に困ったことがある」9.8%、「ゲーム課金に後悔したことがある」25.0%
- >> **サブスク消費拡大、サブスクサービスにお金をかけている** 20代は 47.1%
 かけている金額の全体平均は 1,468 円/月、前回調査から約 2 倍に増加
 現在利用しているサービス TOP2 は「動画配信」「音楽配信」
- >> **サブスクサービスを利用する理由** TOP2 は「使いたいときだけ利用できる」「多くの商品・サービスが利用できる」
- >> **投資をしている** 20代は 26.2%、ひと月あたりに投資に回している金額は平均 39,604 円
- >> **投資をする理由** 1位「万が一のときの備えとして」2位「小遣い稼ぎのため」3位「老後の生活費のため」
- >> **20代の自己投資・自分磨き実態** 「自己投資にお金をかけている」32.6%、かけているお金は平均 7,701 円/月
 「自分磨きにお金をかけている」66.9%、かけているお金は平均 8,415 円/月
- >> 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」20.0%、かけているお金は平均 3,693 円/月
- >> **コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいもの** 「旅行・観光」がダントツ、2位「外食」3位「ライブ・コンサート」
- >> 「エシカル消費をしたことがある」52.1%、中国・四国エリアと九州・沖縄エリアでは 60%弱
- >> **エシカル消費として積極的に買いたいもの** TOP2「リサイクル素材を使った商品」「地産地消になる商品」

【20代のマネー意識】 P.24～P.25

- >> **20代の“おごり・おごられ”に対する意識** 「人におごりたくない」33.1%、「人からおごられたくない」26.7%
- >> 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」52.3%、「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」63.5%
- >> 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」67.3%、女性では 76.8%
- >> **お金と幸せの関係についての意識** 20代の 74.6%が「幸せになるにはお金が必要」と回答

【ライフイベントと収入事情】 P.26～P.30

- >> **20代の半数以上が結婚しようと思えるのは**「年収 500 万円」、前回調査からハードルが下降
- >> 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」13.8%、前回調査から 8.0 ポイントの大幅下降
- >> **20代の半数以上が 1 人目の子育てに前向きになるのは**「年収 600 万円」、前回調査からハードルが下降
- >> **20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは**「年収 500 万円」、前回調査からハードルが下降
- >> **20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは**「年収 800 万円」、前回調査からハードルが下降
- >> **20代有職者の目標年収は平均 705 万円**、前回調査から 57 万円増加
- >> **20代有職者が管理職になってもいいと思える年収は平均 907 万円**、前回調査から 50 万円増加
- >> 「70 歳以降も働いていると思う」20代有職者の 3 人に 2 人
 働いていると思う理由 1位「働かないと生活費が足りないと思うから」

【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】 P.31～P.33

- >> 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」20代の 5 人に 1 人
 経験した詐欺被害 TOP4 は「マルチ商法・ねずみ講」「ワンクリック詐欺」「無料商法」「ネットオークション詐欺」
- >> 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」20代の 3 人に 1 人
- >> **10代のうちに学んでおけばよかったと思うお金の知識**
 TOP5「資産形成・資産運用」、「生活設計」、「保険・リスク管理」、「ローン・クレジットの仕組み」、「家計管理」

アンケート調査結果

【20代のお小遣い・貯蓄事情】

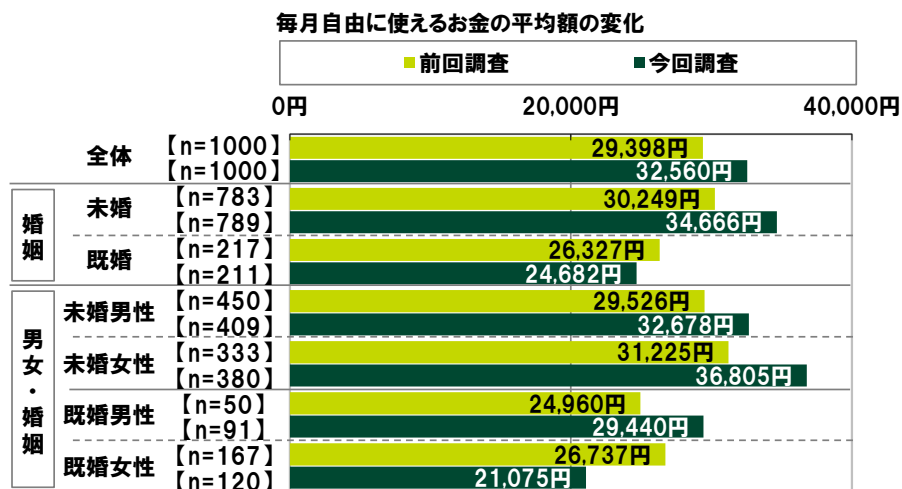
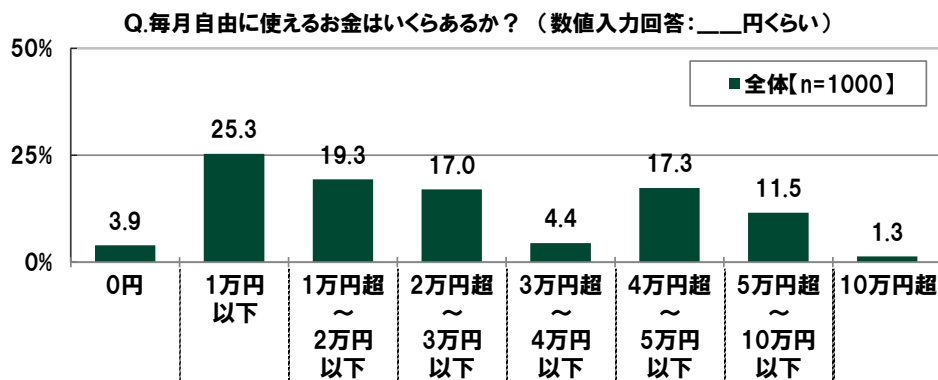
 ≫ **20代の毎月のお小遣い 平均 32,560円、前回調査から3,162円増加**

全国の20歳～29歳の男女1,000名(全回答者)に対し、毎月自由に使えるお金はいくらあるか聞いたところ、「1万円以下」(25.3%)に最も多くの回答が集まり、「1万円超～2万円以下」(19.3%)や「2万円超～3万円以下」(17.0%)、「4万円超～5万円以下」(17.3%)に回答が分散し、平均は32,560円でした。

前回の調査結果(※1)と比較すると、毎月自由に使えるお金の平均は3,162円増加(前回調査29,398円→今回調査32,560円)しました。

婚姻状況別にみると、未婚男性では3,152円の増加(前回調査29,526円→今回調査32,678円)、既婚男性では4,480円の増加(前回調査24,960円→今回調査29,440円)となりました。他方、未婚女性では5,580円の増加(前回調査31,225円→今回調査36,805円)となったのに対し、既婚女性では5,662円の減少(前回調査26,737円→今回調査21,075円)となっており、婚姻状況により対照的な結果となりました。

※1: SMBCコンシューマーファイナンス「20代の金銭感覚についての意識調査 2021」より



20代の貯蓄額は平均 68 万円、前回調査から 4 万円減少
既婚者では平均 105 万円、前回調査から 21 万円の大幅減少

次に、貯蓄状況について質問しました。

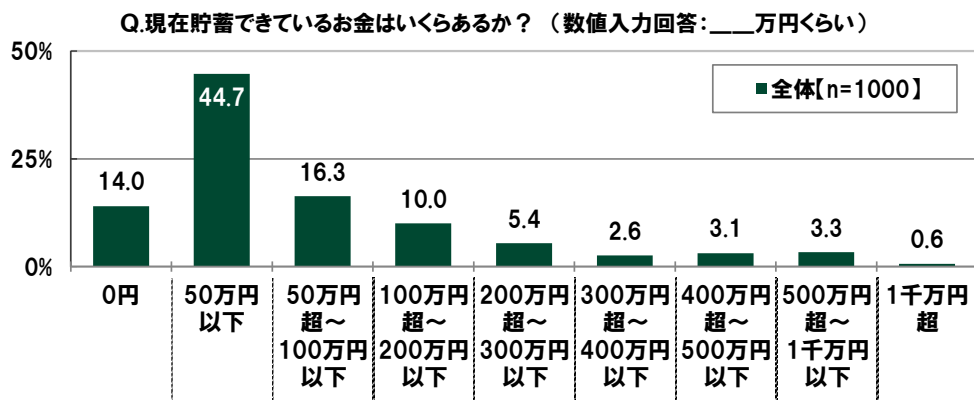
現時点で、どのくらいの貯蓄ができているか聞いたところ、「50 万円以下」(44.7%)に最も多くの回答が集まったほか、「50 万円超～100 万円以下」(16.3%)にも回答がみられ、調整平均(※2)は 68 万円でした。他方、「0 円」は 14.0%となりました。

前回の調査結果と比較すると、現在貯蓄できているお金の調整平均は 4 万円の減少(前回調査 72 万円→今回調査 68 万円)となりました。

婚姻状況別にみると、未婚者では 1 万円の減少(前回調査 61 万円→今回調査 60 万円)にとどまった一方、既婚者では 21 万円の大幅減少(前回調査 126 万円→今回調査 105 万円)となりました。

また、職業別にみると、会社員では 9 万円の減少(前回調査 117 万円→今回調査 108 万円)、パート・アルバイトでは 11 万円の減少(前回調査 37 万円→今回調査 26 万円)となりました。

※2: 当該設問では、上位数%のデータにみられた極端な値(貯蓄額が数億円など)の影響を除外するため、10%調整平均(上位と下位からそれぞれ 10%のデータを除外して算出した相加平均)を利用しています。



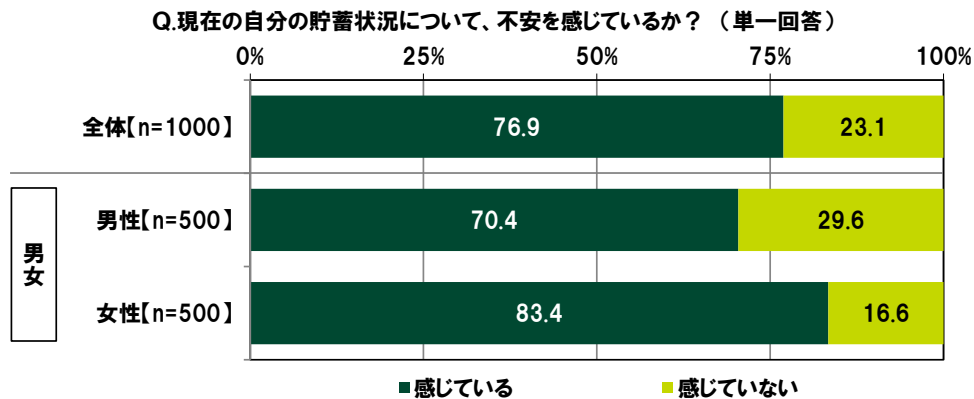
現在貯蓄できているお金の調整平均額の変化

		調整平均額 (万円)			
		前回調査	今回調査	前回調査	今回調査
		0万円	50万円	100万円	150万円
年代	全体	[n=1000]	72万円	68万円	
	20代前半	[n=500]	43万円	36万円	
婚姻	未婚	[n=783]	61万円	60万円	
	既婚	[n=217]	126万円	105万円	
職業	会社員	[n=420]	117万円	108万円	
	パート・アルバイト	[n=116]	37万円	26万円	
	学生	[n=202]	28万円	26万円	
		[n=218]	26万円		

≫ 「現在の貯蓄状況に不安を感じている」76.9%、前回調査から 19.2 ポイントの大幅上昇

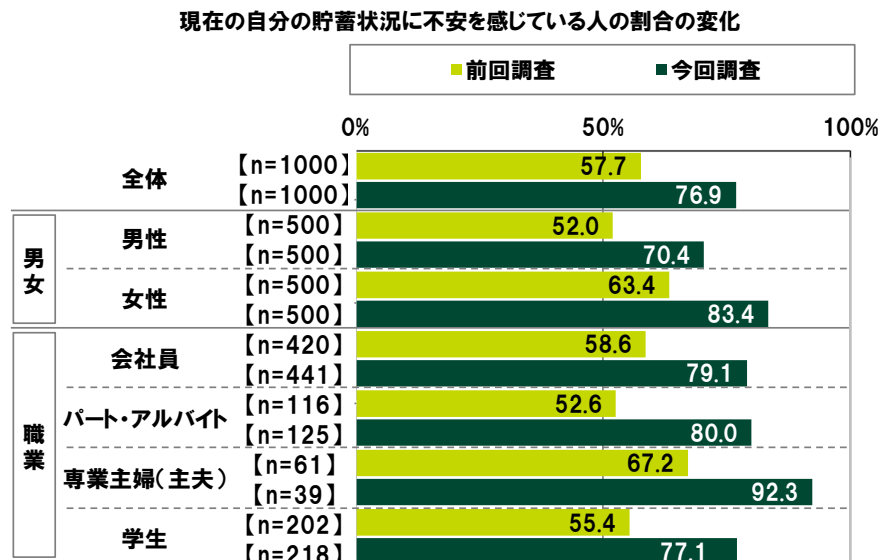
現在の自分の貯蓄状況について、不安を感じているか聞いたところ、「感じている」は 76.9%、「感じていない」は 23.1%となりました。

男女別にみると、不安を感じている人の割合は、女性では 83.4%と、男性(70.4%)と比べて 13.0 ポイント高くなりました。



前回の調査結果と比較すると、不安を感じている人の割合は、全体では 19.2 ポイントの上昇(前回調査 57.7%→今回調査 76.9%)となりました。経済の先行きの不透明感や将来不安の高まり、長引くコロナ禍などが、貯蓄状況に対する不安感を強めているのではないのでしょうか。

職業別にみると、パート・アルバイトでは 27.4 ポイントの上昇(前回調査 52.6%→今回調査 80.0%)、専業主婦(主夫)では 25.1 ポイントの上昇(前回調査 67.2%→今回調査 92.3%)と、上昇幅が特に大きくなりました。



- ≫ 「老後の生活資金は年金だけで十分だと思わない」89.9%、女性では 95.0%
- ≫ 老後の生活に対する意識 「老後が不安」74.3%

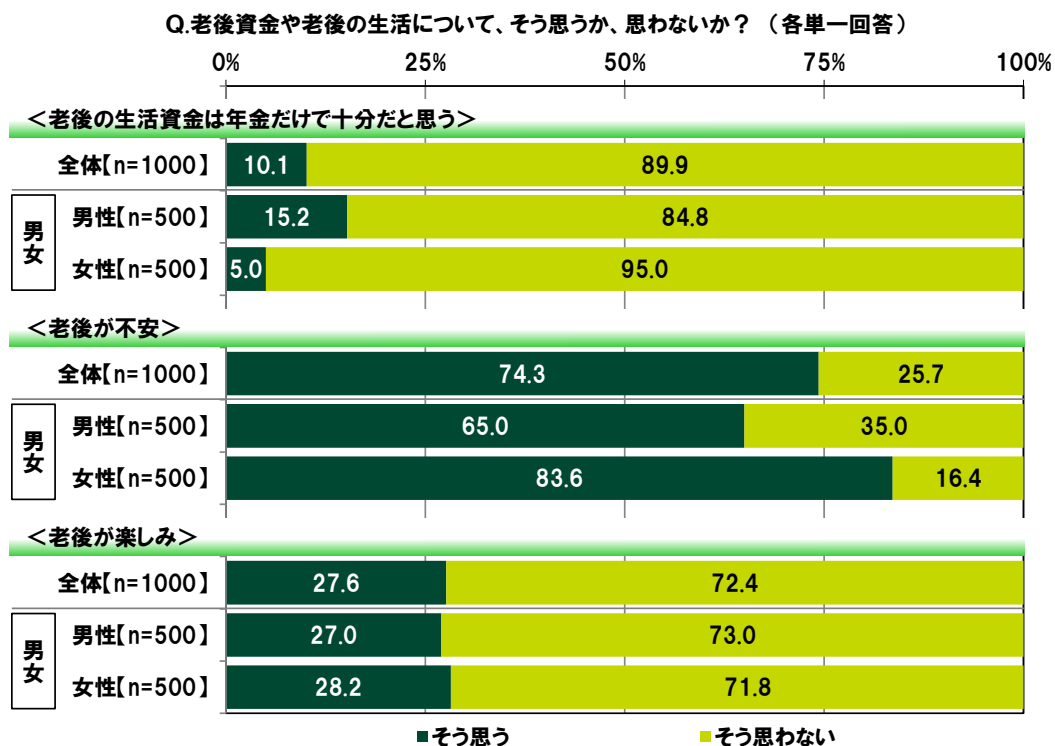
老後資金や老後の生活について、どのように感じている人が多いのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、老後資金に対する意識を聞いたところ、<老後の生活資金は年金だけで十分だと思う>では「そう思う」が 10.1%、「そう思わない」が 89.9%となりました。

男女別にみると、老後の生活資金は年金だけで十分だと思わない人の割合は、女性では 95.0%と、男性(84.8%)と比べて 10.2ポイント高くなりました。

また、老後の生活に対する意識を聞いたところ、<老後が不安>では「そう思う」が 74.3%、<老後が楽しみ>では「そう思う」が 27.6%となりました。20代の大半は、老後の生活に対する不安感を抱いているようです。

男女別にみると、老後が不安と感じている人の割合は、女性では 83.6%と、男性(65.0%)と比べて 18.6ポイント高くなりました。



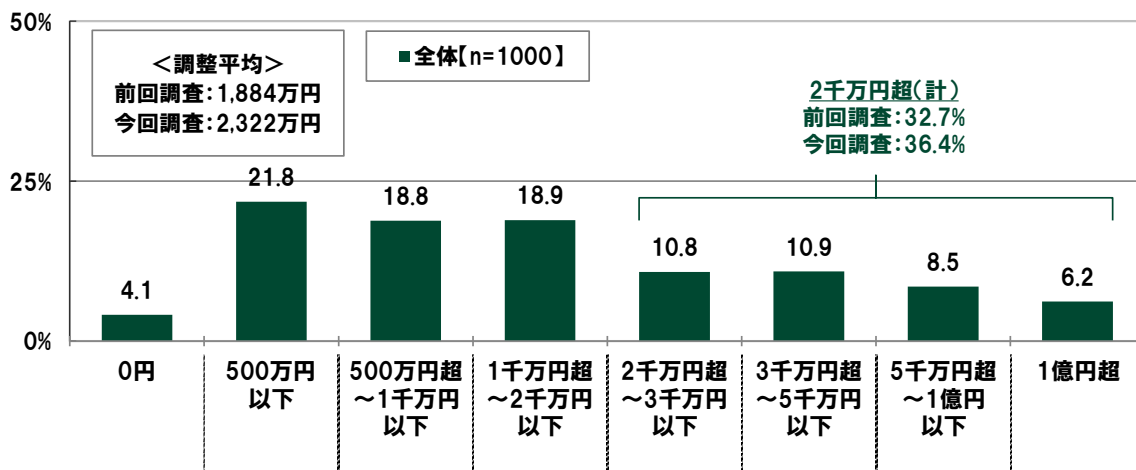
» リタイア時にあれば安心できる貯蓄金額は平均 2,322 万円、前回調査から 438 万円増加

リタイア時にあれば安心できる貯蓄額のイメージはいくらくらいなのでしょう。

全回答者(1,000名)に、仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか聞いたところ、「500万円以下」(21.8%)や「500万円超～1千万円以下」(18.8%)、「1千万円超～2千万円以下」(18.9%)、「2千万円超～3千万円以下」(10.8%)、「3千万円超～5千万円以下」(10.9%)に回答が集まり、調整平均は 2,322 万円でした。また、『2千万円超(計)』の割合は 36.4%となりました。

前回の調査結果と比較すると、リタイア時にあれば安心できる貯蓄額の調整平均は 438 万円の増加(前回調査 1,884 万円→今回調査 2,322 万円)となりました。

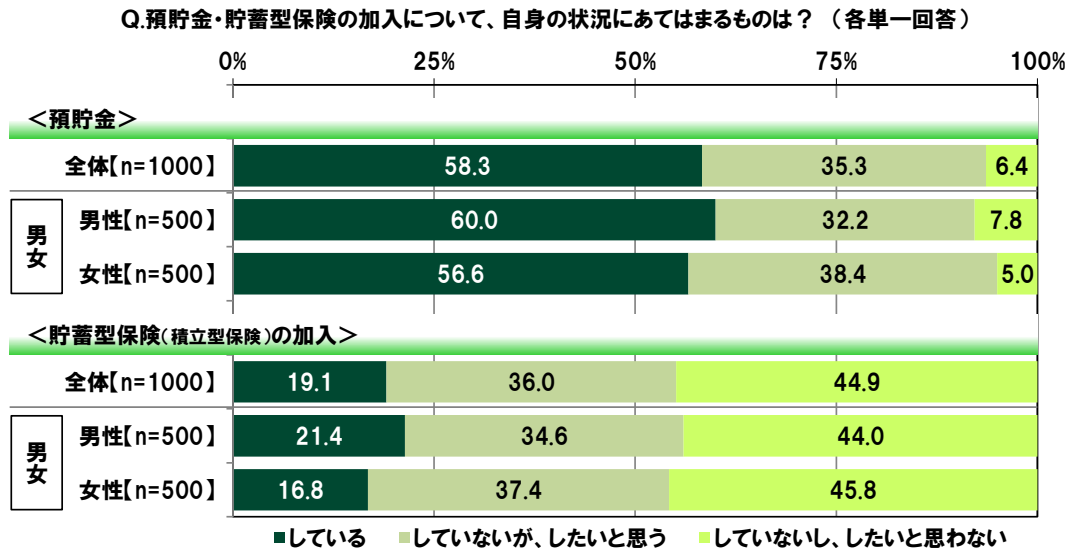
Q.仕事をリタイアする年齢までに貯蓄がいくらあれば安心できるか？
 (数値入力回答:___万円くらい)



>> 毎月の貯蓄状況「預貯金をしている」58.3%、預貯金している金額は平均 39,657 円/月
 「貯蓄型保険に加入している」19.1%、貯蓄型保険に払っている金額は平均 17,741 円/月

全回答者(1,000名)に、預貯金の実践状況、貯蓄型保険の加入状況を聞いたところ、<預貯金>では、「している」が58.3%、「していないが、したいと思う」が35.3%となりました。

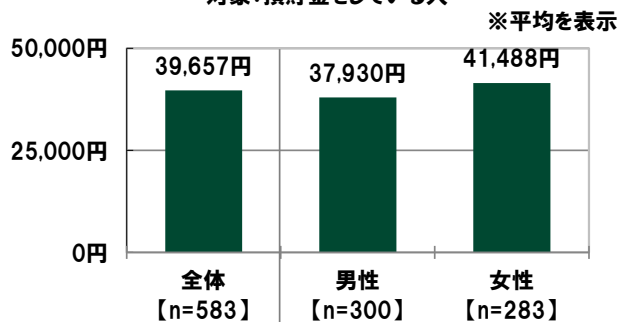
また、<貯蓄型保険(積立型保険)の加入>では「している」が19.1%、「していないが、したいと思う」が36.0%となりました。



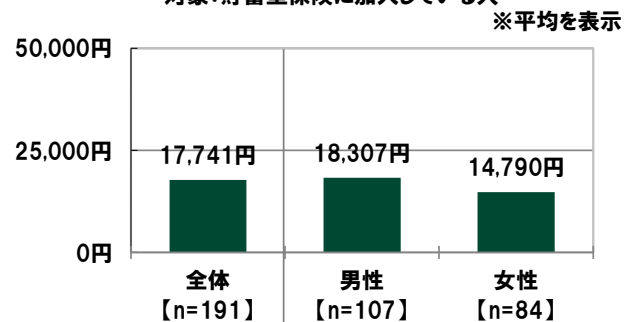
預貯金をしている人(583名)に、ひと月あたり、いくらぐらい預貯金しているか聞いたところ、平均は39,657円で、男女別では男性37,930円、女性41,488円でした。

また、貯蓄型保険に加入している人(191名)に、ひと月あたり、いくらぐらい貯蓄型保険にお金を払っているか聞いたところ、平均は17,741円で、男女別では男性18,307円、女性14,790円でした。

Q.ひと月あたり、いくらぐらい預貯金しているか？
 (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
 対象:預貯金をしている人



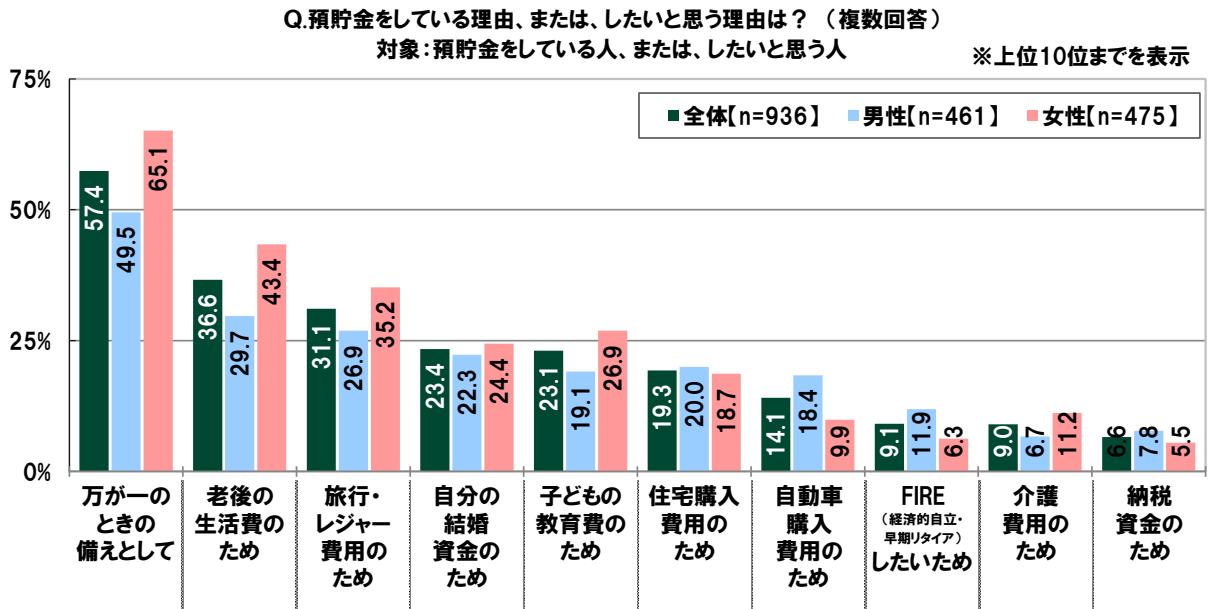
Q.ひと月あたり、いくらぐらい貯蓄型保険にお金を払っているか？
 (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
 対象:貯蓄型保険に加入している人



≫ **預貯金をする理由 1位「万が一のときの備えとして」2位「老後の生活費のため」3位「旅行・レジャー費用のため」**

また、預貯金をしている人、または、したいと思う人(936名)に、預貯金をしている理由、または、したいと思う理由を聞いたところ、「万が一のときの備えとして」(57.4%)が突出して高くなりました。次いで高くなったのは、「老後の生活費のため」(36.6%)、「旅行・レジャー費用のため」(31.1%)、「自分の結婚資金のため」(23.4%)、「子どもの教育費のため」(23.1%)でした。

男女別にみると、女性では「万が一のときの備えとして」が65.1%、「老後の生活費のため」が43.4%と、男性(順に49.5%、29.7%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

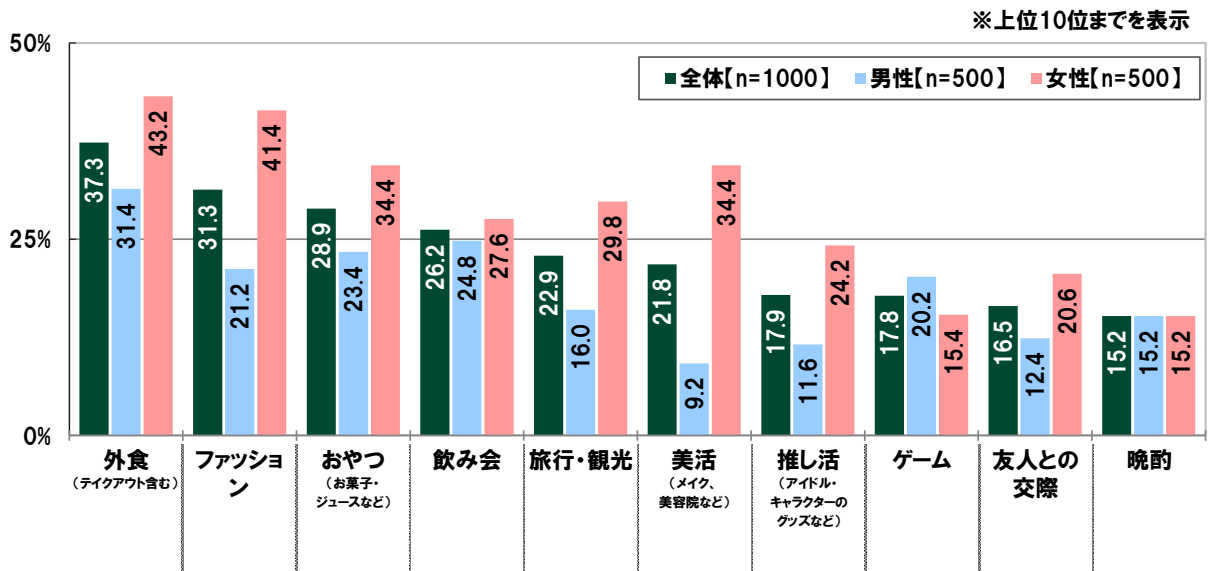


≫ 貯蓄のために我慢することがあるもの 1位「外食」2位「ファッション」3位「おやつ」4位「飲み会」5位「旅行・観光」

全回答者(1,000名)に、貯蓄のために我慢することがあるものを聞いたところ、「外食(テイクアウト含む)」(37.3%)が最も高くなり、「ファッション」(31.3%)、「おやつ(お菓子・ジュースなど)」(28.9%)が続きました。貯蓄を優先するために、おしゃれや食べたいものを控えるという人が多いようです。次いで高くなったのは、「飲み会」(26.2%)、「旅行・観光」(22.9%)、「美活(メイク、美容院など)」(21.8%)、「推し活(アイドル・キャラクターのグッズなど)」(17.9%)、「ゲーム」(17.8%)でした。

男女別にみると、男女とも「外食(テイクアウト含む)」(男性31.4%、女性43.2%)が1位となり、男性では2位「飲み会」(24.8%)、3位「おやつ(お菓子・ジュースなど)」(23.4%)、女性では2位「ファッション」(41.4%)、3位「おやつ(お菓子・ジュースなど)」(34.4%)、「美活(メイク、美容院など)」(いずれも34.4%)でした。

Q.貯蓄のために我慢することがあるものは？(複数回答)



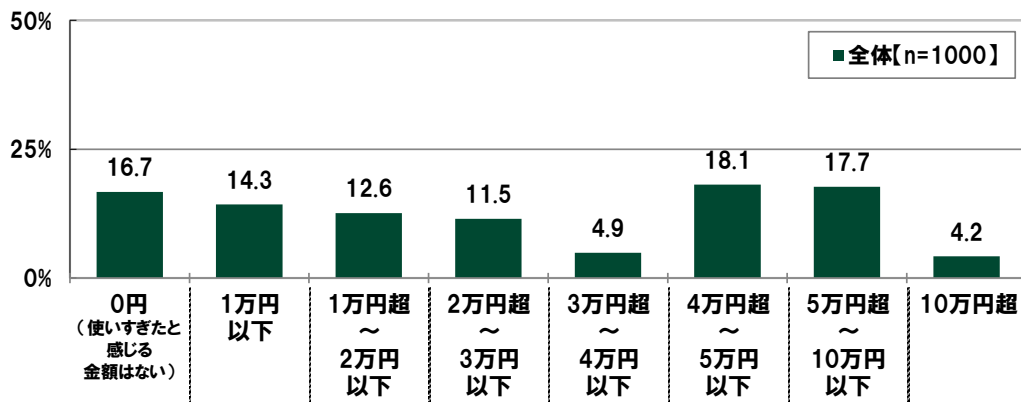
【20代の消費意識と消費実態】

≫ お小遣いを使いすぎたと感じる金額は平均 39,908 円/月、女性では婚姻状況で 19,098 円と大きな金額差

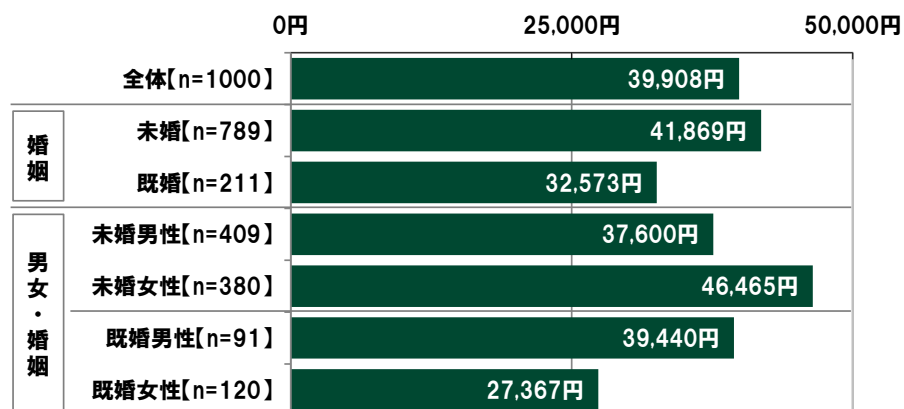
全回答者(1,000名)に、自分が自由に使えるお金(お小遣い)を、1ヶ月間でいくくらい使ったときにお金を使いすぎたと感じるか聞いたところ、「4万円超～5万円以下」(18.1%)や「5万円超～10万円以下」(17.7%)などに回答が集まり、平均は39,908円でした。

婚姻状況別にみると、使いすぎたと感じる金額の平均は、未婚男性では37,600円、既婚男性では39,440円と、婚姻状況による大きな差はみられなかったのに対し、未婚女性では46,465円、既婚女性では27,367円と、19,098円の差がみられました。

Q.自分が自由に使えるお金を、1ヶ月間でいくくらい使ったときにお金を使いすぎたと感じるか？
(数値入力回答:1ヶ月間で___円くらい)



自分が自由に使えるお金を1ヶ月間に使ったときに使いすぎたと感じる金額の平均

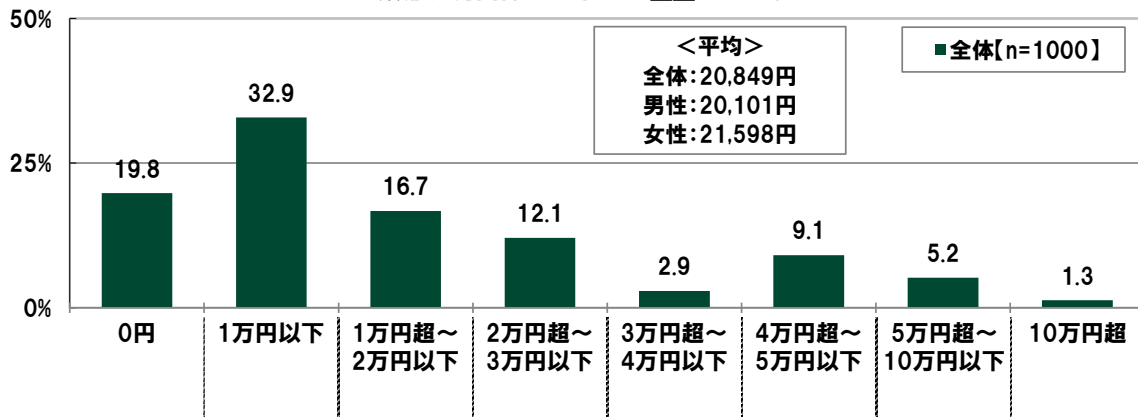


- ≫ 20代が趣味や遊びなど生活費以外に使っている金額は平均 20,849 円/月
- ≫ 20代がお金をかけたいと思うこと 1位「旅行・観光」2位「友人との交際」3位「ファッション」4位「恋愛」5位「外食」

全回答者(1,000名)に、生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか聞いたところ、「1万円以下」(32.9%)に最も多くの回答が集まったほか、「1万円超～2万円以下」(16.7%)や「2万円超～3万円以下」(12.1%)にも回答がみられ、平均は20,849円でした。また、「0円」は19.8%となりました。

男女別にみると、生活費以外に使っている金額の平均は、男性20,101円、女性21,598円でした。

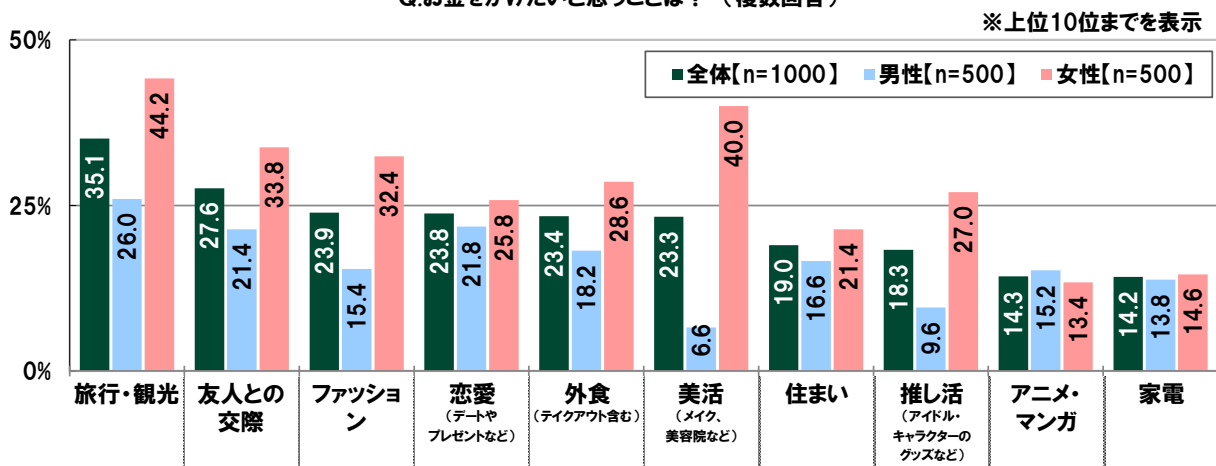
Q.生活費以外(趣味や遊びなど)に、ひと月あたり、いくらくらいお金を使っているか?
(数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)



お金をかけたいと思うことを聞いたところ、「旅行・観光」(35.1%)が最も高くなり、「友人との交際」(27.6%)、「ファッション」(23.9%)、「恋愛(デートやプレゼントなど)」(23.8%)、「外食(テイクアウト含む)」(23.4%)が続きました。

男女別にみると、男女とも「旅行・観光」(男性26.0%、女性44.2%)が1位となり、男性では2位「恋愛(デートやプレゼントなど)」(21.8%)、3位「友人との交際」(21.4%)、女性では2位「美活(メイク、美容院など)」(40.0%)、3位「友人との交際」(33.8%)でした。

Q.お金をかけたいと思うことは? (複数回答)



≫ ゲーム課金に対する意識

「お金を使ってでもゲームを有利に進めたい」14.4%、「お金を使わないと楽しく遊べない」19.3%

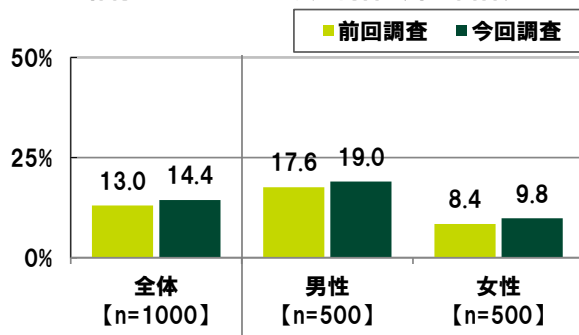
「アイテム・キャラ入手のためのお金は惜しみたくない」17.9%、「レアアイテム・キャラを入手すると誇らしい」44.5%

全回答者(1,000名)に、ゲーム消費について質問しました。

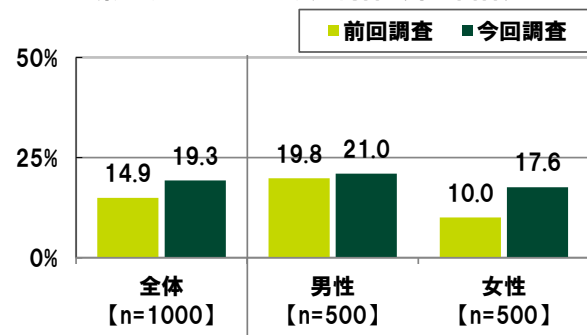
お金を使ってゲームをすることについて聞いたところ、<お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたい>では「そう思う」は14.4%、<お金を使わないと楽しく遊べない>では「そう思う」は19.3%となりました。

アイテムやキャラクターの入手について聞いたところ、<ほしいアイテム・キャラを手に入れるためのお金は惜しみたくない>では「そう思う」は17.9%、<レアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになる>では「そう思う」は44.5%となりました。ゲームプレイ中に希少なアイテムやキャラを入手することで優越感を感じる人は少ないようです。

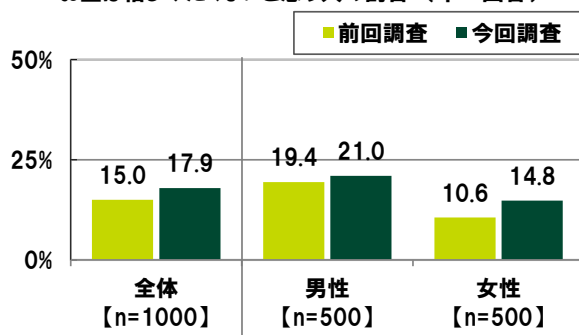
お金を使ってでも(課金してでも)ゲームを有利に進めたいと思う人の割合(単一回答)



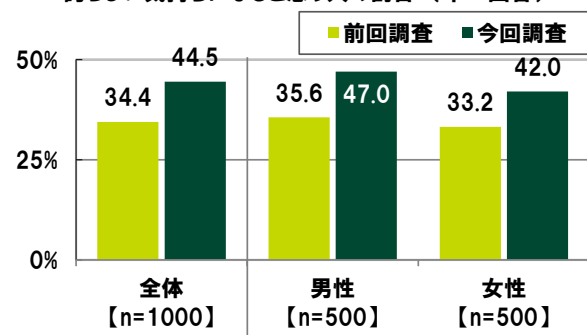
ゲームはお金を使わないと楽しく遊べないと思う人の割合(単一回答)



ゲームでほしいアイテム・キャラを手に入れるためのお金は惜しみたくないと思う人の割合(単一回答)



ゲームでレアアイテムやレアキャラを手に入れたときは誇らしい気持ちになると思う人の割合(単一回答)



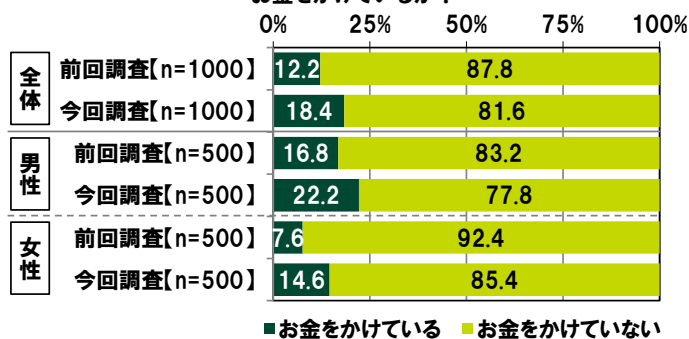
- ▶ **ゲーム課金実態** ゲーム課金をしている 20代は 18.4%、かけている金額は平均 4,804 円/月
- ▶ 「ゲーム課金しすぎて生活に困ったことがある」9.8%、「ゲーム課金に後悔したことがある」25.0%

ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用といったゲーム課金実態について質問しました。

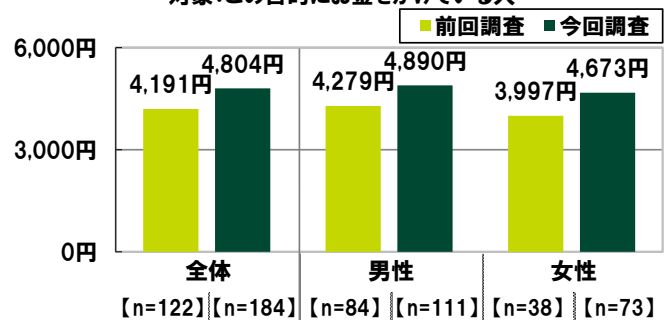
＜ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)＞にお金をかけている人の割合は 18.4%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は 4,804 円でした。

男女別にみると、お金をかけている人の割合は、男性では 22.2%と、女性(14.6%)と比べて 7.6 ポイント高くなりました。

Q.ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にお金をかけているか？



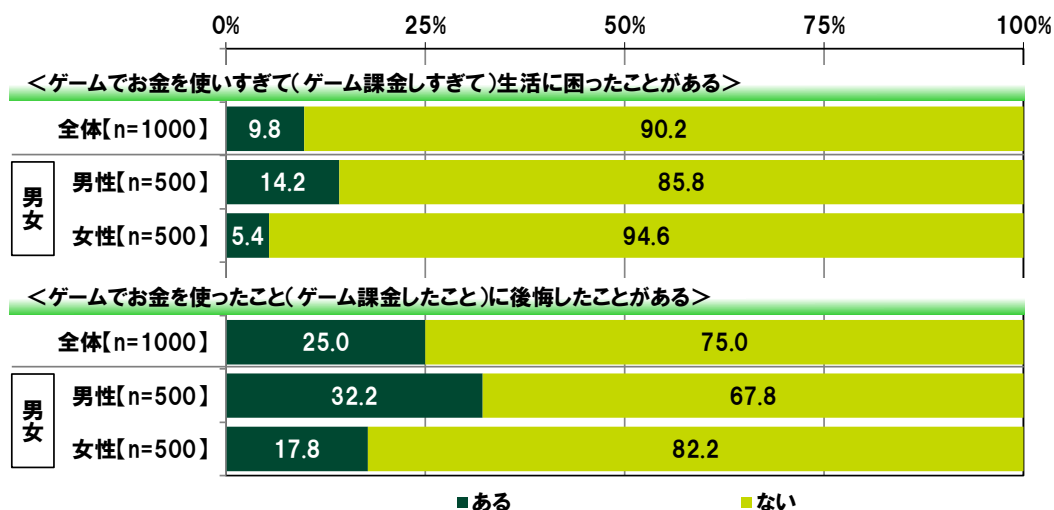
ゲームでのアイテムの購入やガチャ等の利用(ゲーム課金)にかけている金額の平均(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



また、ゲーム課金での経験を聞いたところ、＜ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある＞では「ある」は 9.8%、＜ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある＞では「ある」は 25.0%となりました。

男女別にみると、経験がある人の割合は、男性では＜ゲームでお金を使いすぎて(ゲーム課金しすぎて)生活に困ったことがある＞が 14.2%、＜ゲームでお金を使ったこと(ゲーム課金したこと)に後悔したことがある＞が 32.2%と、女性(順に 5.4%、17.8%)と比べて高くなりました。

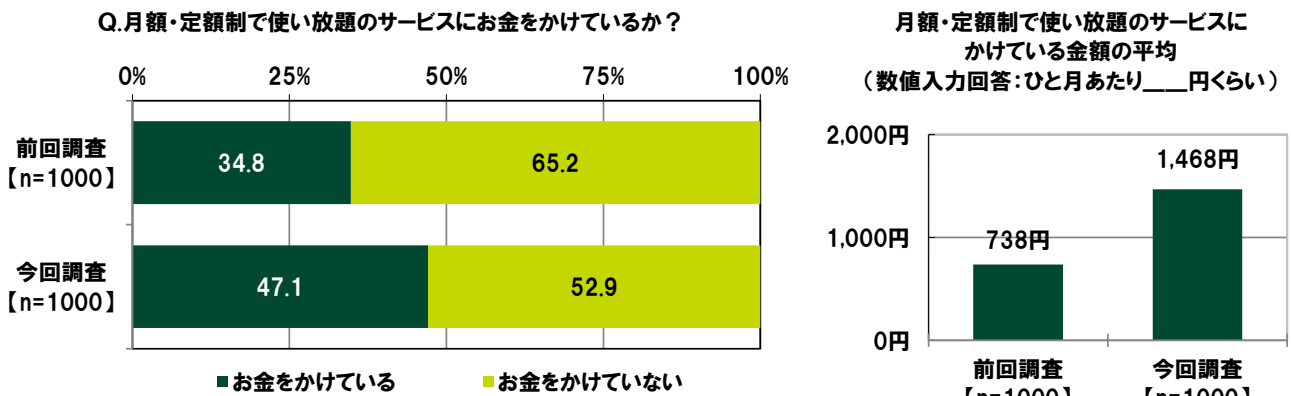
Q.ゲーム課金に関する以下の経験があるか、ないか？(各単一回答)



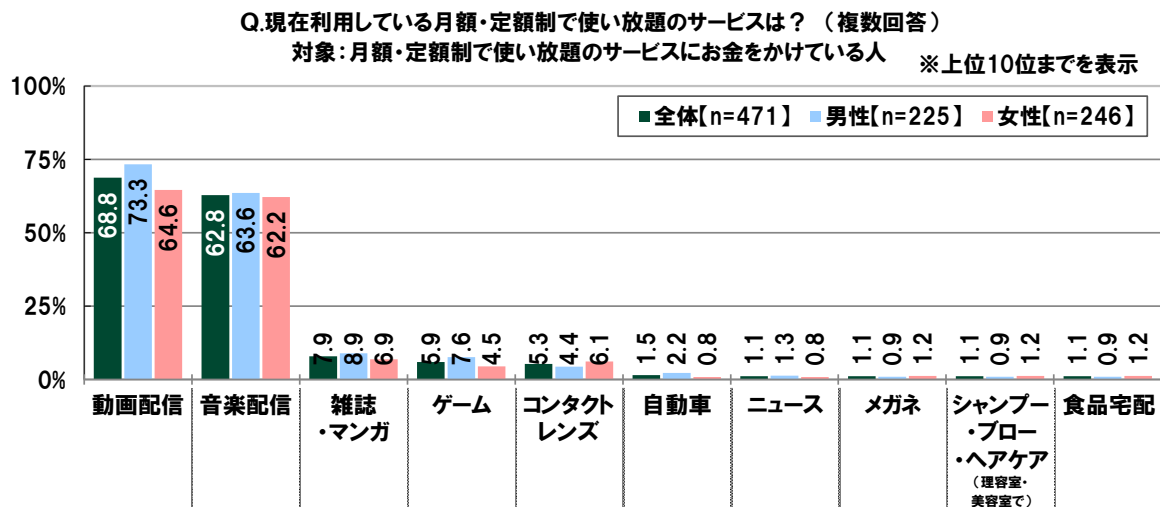
- ≫ サブスク消費拡大、サブスクサービスにお金をかけている 20代は 47.1%
 かけている金額の全体平均は 1,468 円/月、前回調査から約 2 倍に増加
 現在利用しているサービス TOP2 は「動画配信」「音楽配信」
- ≫ サブスクサービスを利用する理由 TOP2 は「使いたいときだけ利用できる」「多くの商品・サービスが利用できる」

全回答者(1,000名)に、モノを持たない消費の一つであるサブスクリプションサービスについて質問しました。まず、月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 47.1%で、ひと月あたりにかけている金額の全体平均は 1,468 円でした。

前回の調査結果と比較すると、実際にお金をかけている人の割合は 12.3ポイントの上昇(前回調査 34.8%→今回調査 47.1%)となり、かけている金額の全体平均は、730 円の大幅増加(前回調査 738 円→今回調査 1,468 円)となりました。長引くコロナ禍において、おうち時間の充実を図ろうとする人が多いためか、20代ではサブスク消費の拡大が進んでいるようです。



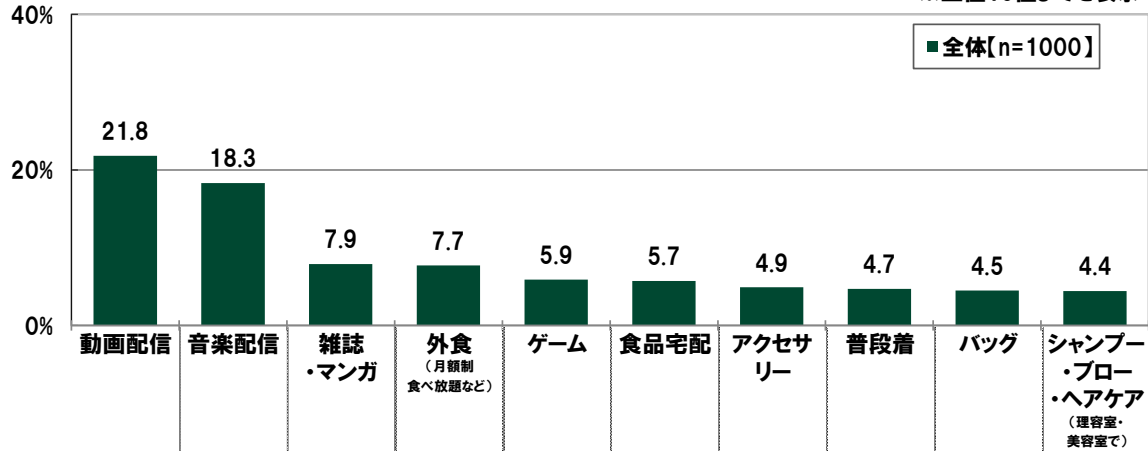
月額・定額制で使い放題のサービスにお金をかけている人(471名)に、現在利用している月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(68.8%)と「音楽配信」(62.8%)が特に高くなり、「雑誌・マンガ」(7.9%)、「ゲーム」(5.9%)、「コンタクトレンズ」(5.3%)が続きました。



また、全回答者(1,000名)に、利用してみたいと思う月額・定額制で使い放題のサービスを聞いたところ、「動画配信」(21.8%)が最も高くなり、「音楽配信」(18.3%)、「雑誌・マンガ」(7.9%)、「外食(月額制食べ放題など)」(7.7%)、「ゲーム」(5.9%)が続きました。

Q.利用してみたいと思う月額・定額制で使い放題のサービスは？(複数回答)

※上位10位までを表示

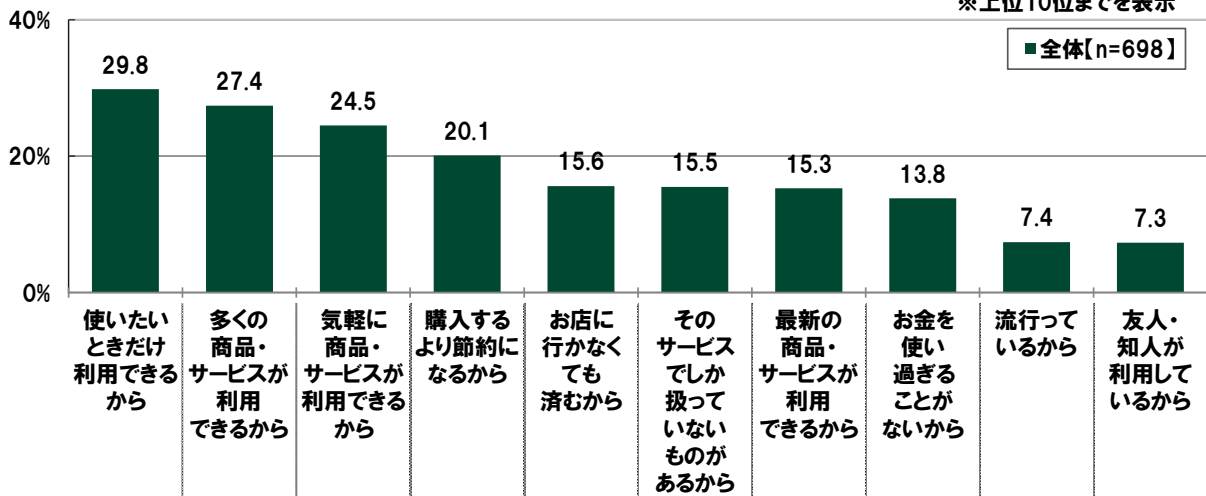


さらに、月額・定額制で使い放題のサービス利用者、または、利用意向者(698名)に、サービスを利用している、または、利用したいと思う理由を聞いたところ、「使いたいときだけ利用できるから」(29.8%)が最も高くなりました。ライフスタイルに応じて、自身の使いたいタイミングで使える点に魅力を感じている人が多いようです。次いで高くなったのは、「多くの商品・サービスが利用できるから」(27.4%)、「気軽に商品・サービスが利用できるから」(24.5%)、「購入するより節約になるから」(20.1%)、「お店に行かなくても済むから」(15.6%)でした。

Q.月額・定額制で使い放題のサービスを利用している、または、利用したいと思う理由は？(複数回答)

対象:月額・定額制で使い放題のサービス利用者、または、利用意向者

※上位10位までを表示

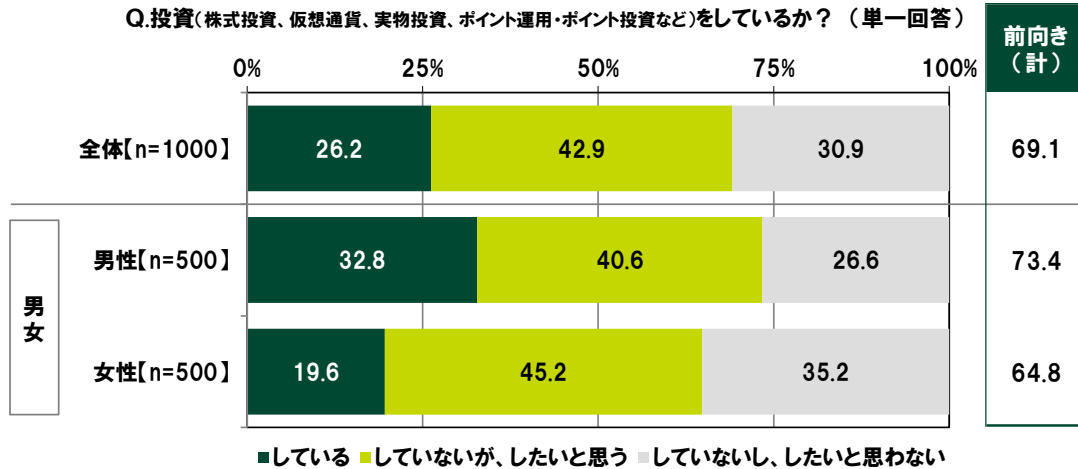


- ▶ 投資をしている20代は26.2%、ひと月あたりに投資に回している金額は平均39,604円
- ▶ 投資をする理由 1位「万が一のときの備えとして」2位「小遣い稼ぎのため」3位「老後の生活費のため」

投資(株式投資、仮想通貨、実物投資、ポイント運用・ポイント投資など)について質問しました。

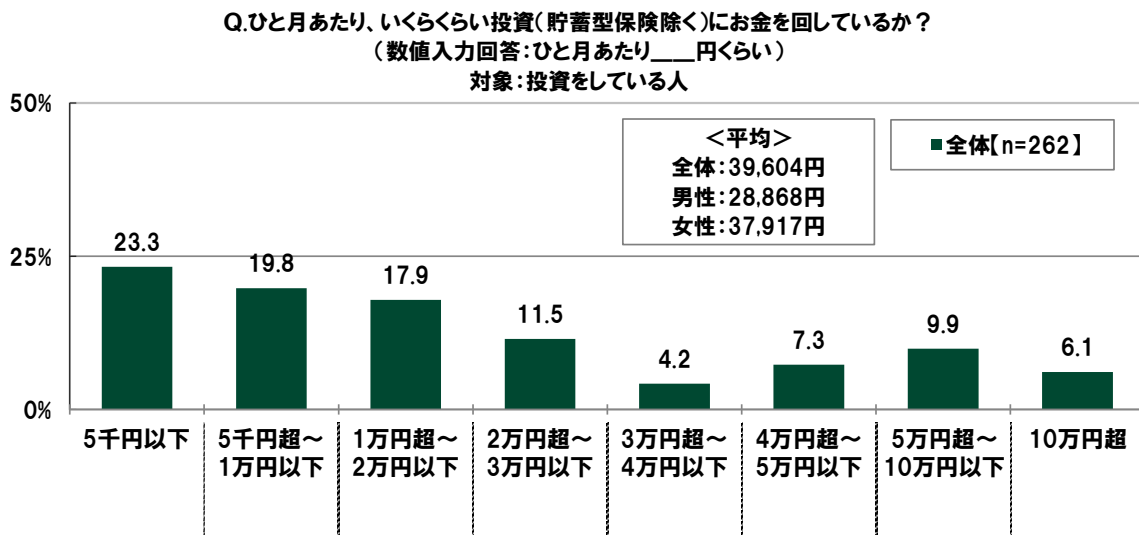
全回答者(1,000名)に、投資をしているか聞いたところ、「している」は26.2%、「していないが、したいと思う」は42.9%で、合計した『前向き(計)』は69.1%となりました。投資に対し意欲的な20代が多いようです。

投資をしている人の割合は、男性では32.8%と、女性(19.6%)と比べて13.2ポイント高くなりました。

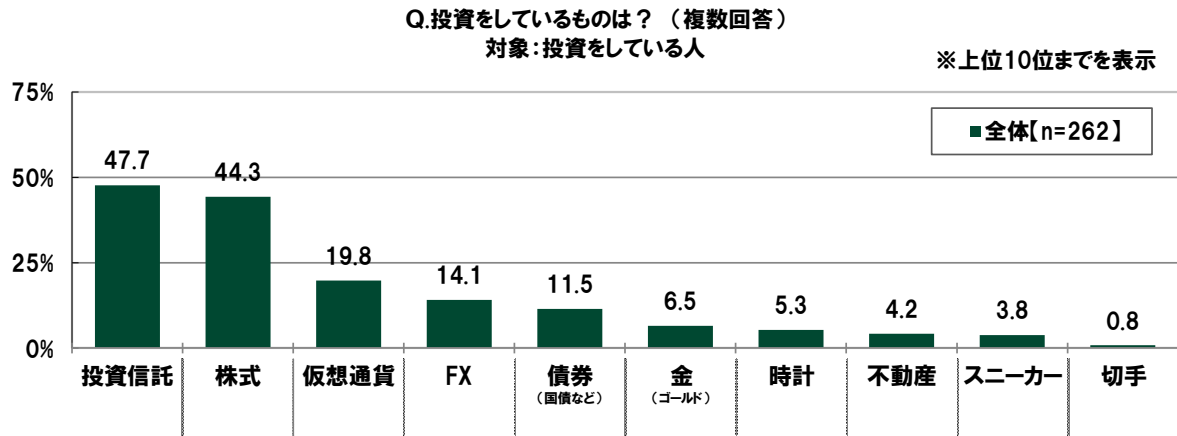


投資をしている人(262名)に、ひと月あたり、いくらくらい投資(貯蓄型保険除く)にお金を回しているか聞いたところ、「5千円以下」(23.3%)や「5千円超~1万円以下」(19.8%)、「1万円超~2万円以下」(17.9%)、「2万円超~3万円以下」(11.5%)などに回答が集まり、平均は39,604円でした。

男女別にみると、ひと月あたりに投資に回している金額の平均は、女性では37,917円と、男性(28,868円)と比べて9,049円高くなりました。

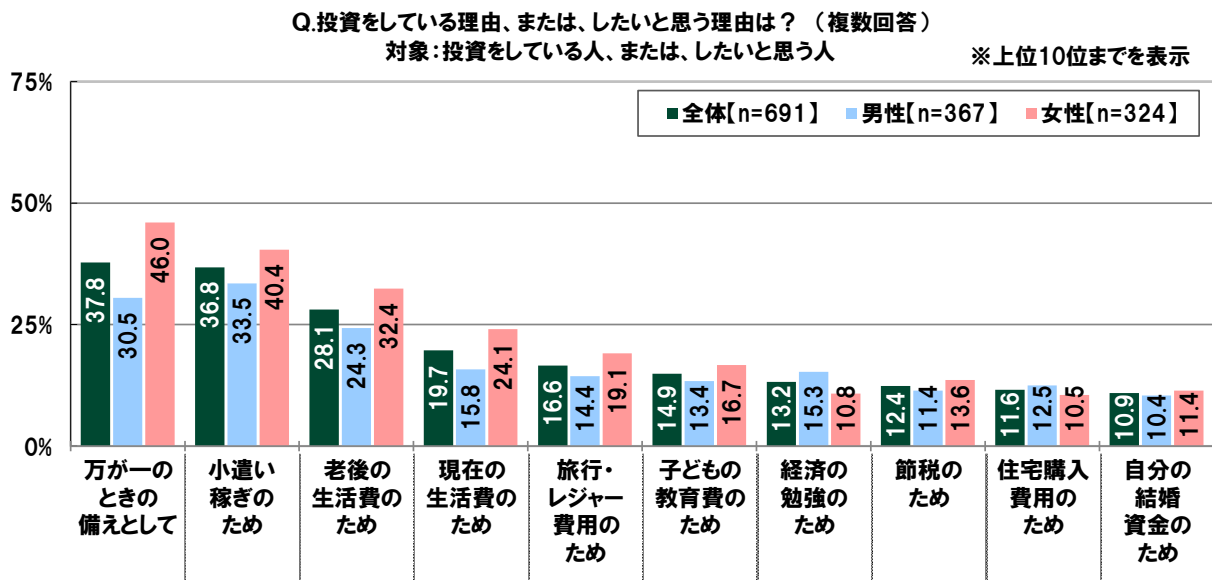


また、投資をしているものを聞いたところ、「投資信託」(47.7%)が最も高くなり、「株式」(44.3%)、「仮想通貨」(19.8%)、「FX」(14.1%)、「債券(国債など)」(11.5%)が続きました。



投資をしている人、または、投資をしたいと思います人(691名)に、投資をしている理由、または、したいと思う理由を聞いたところ、「万が一のときの備えとして」(37.8%)が最も高くなり、「小遣い稼ぎのため」(36.8%)、「老後の生活費のため」(28.1%)、「現在の生活費のため」(19.7%)、「旅行・レジャー費用のため」(16.6%)が続きました。

男女別にみると、女性では「万が一のときの備えとして」が46.0%と、男性(30.5%)と比べて15.5ポイント高くなりました。



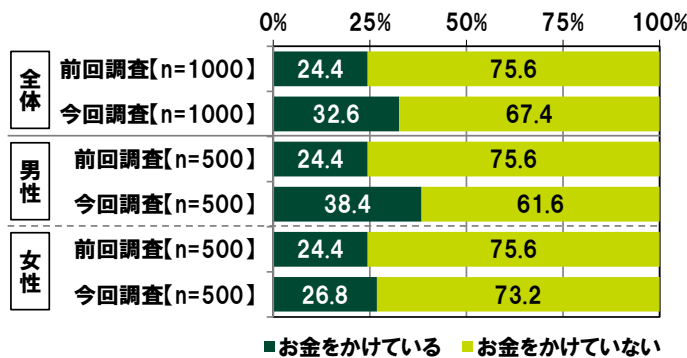
>> **20代の自己投資・自分磨き実態 「自己投資にお金をかけている」32.6%、かけているお金は平均 7,701 円/月
 「自分磨きにお金をかけている」66.9%、かけているお金は平均 8,415 円/月**

全回答者(1,000名)に、自己投資(スキルアップのための勉強や資格取得など)や自分磨き(美容やファッションなど外見磨き)への支出状況について聞きました。

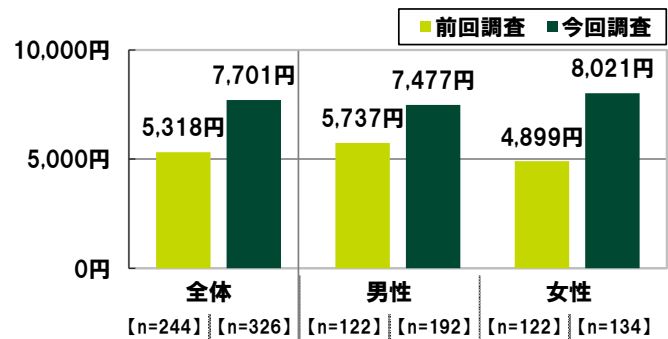
自己投資にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は32.6%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は7,701円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、女性では8,021円と、男性(7,477円)比べて544円高くなりました。

Q.自己投資のためにお金をかけているか？



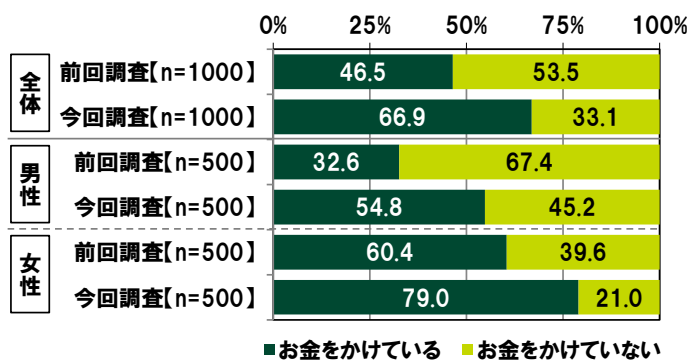
自己投資にかけている金額の平均
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人



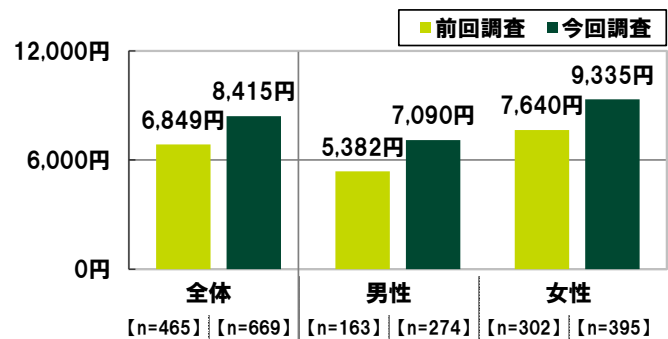
自分磨きにお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は66.9%で、それらの人がひと月あたりにかけている金額の平均は8,415円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、女性では9,335円と、男性(7,090円)と比べて2,245円高くなりました。

Q.自分磨きのためにお金をかけているか？



自分磨きにかけている金額の平均
(数値入力回答:ひと月あたり___円くらい)
対象:この目的にお金をかけている人

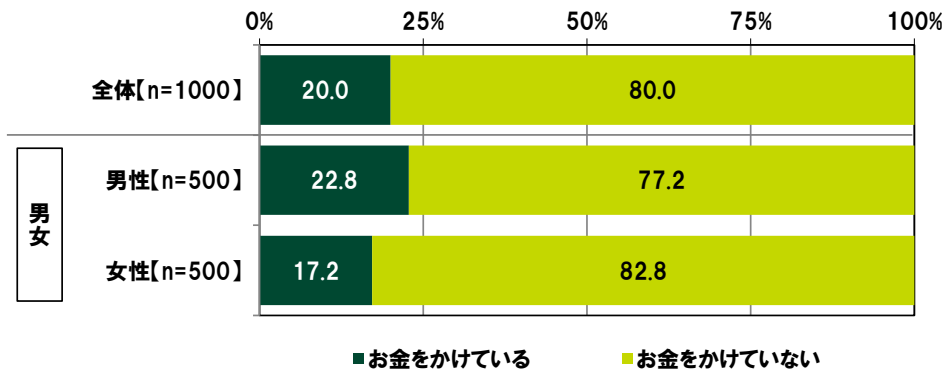


≫ 「社会のためになる商品・サービスにお金をかけている」20.0%、かけているお金は平均 3,693 円/月

全回答者(1,000 名)に、社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか聞いたところ、お金をかけている人の割合は 20.0%となりました。

男女別にみると、お金をかけている人の割合は、男性では 22.8%と、女性(17.2%)と比べて 5.6 ポイント高くなりました。

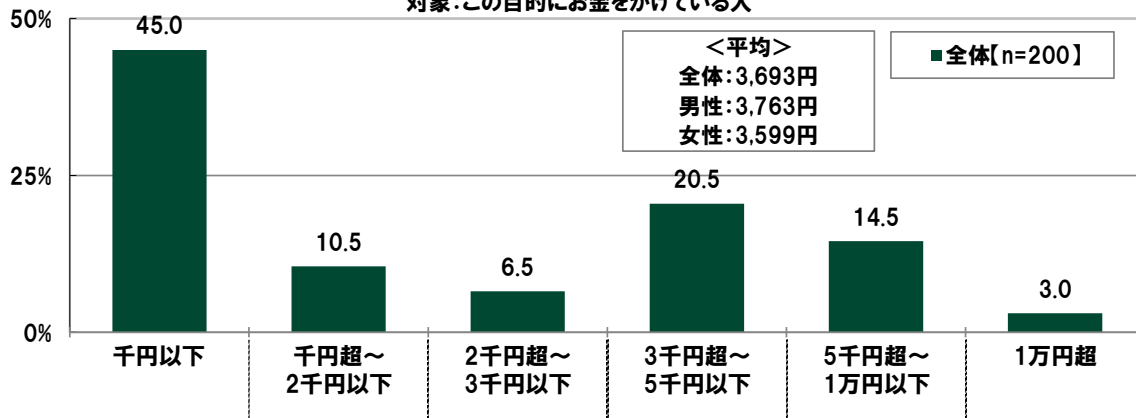
Q.社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？



お金をかけている人(200 名)に、ひと月あたり、いくらくらいお金をかけているか聞いたところ、「千円以下」(45.0%)に最も多くの回答が集まり、「3 千円超～5 千円以下」(20.5%)にも回答がみられ、平均は 3,693 円でした。

男女別にみると、ひと月あたりにかけている金額の平均は、男性では 3,763 円と、女性(3,599 円)と比べて 164 円高くなりました。

Q.ひと月あたり、いくらくらい社会のためになる商品・サービス(地球環境や人権などに配慮した商品・サービス)にお金をかけているか？ (数値入力回答:ひと月あたり__円くらい)
 対象:この目的にお金をかけている人



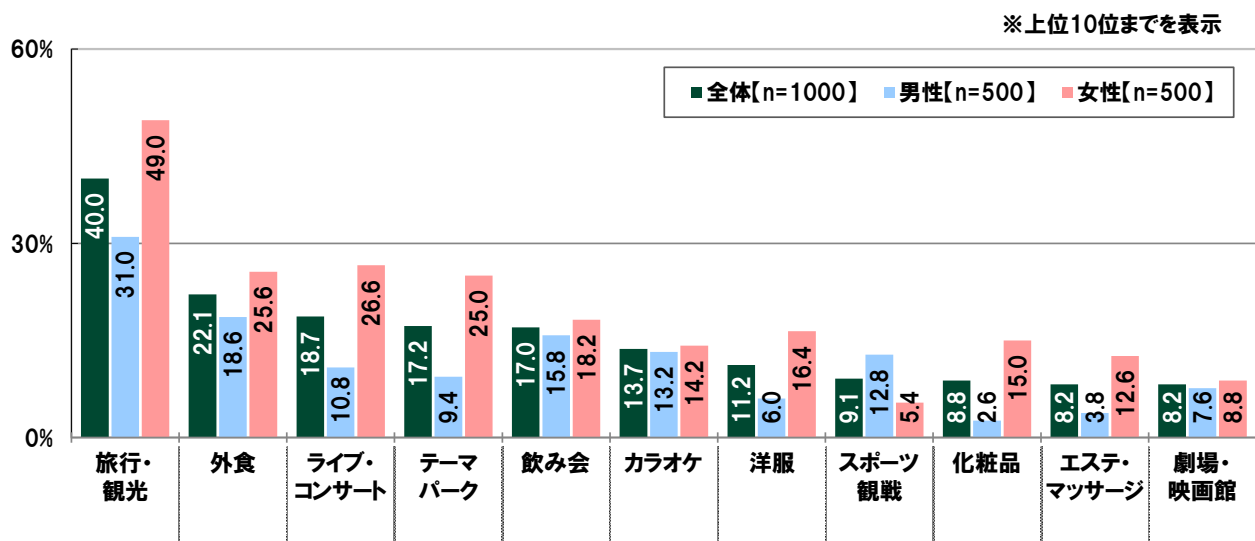
≫ コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいもの「旅行・観光」がダントツ、2位「外食」3位「ライブ・コンサート」

続いて、コロナ禍が落ち着いた際の消費の意向について質問しました。

全回答者(1,000名)に、コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいと思うものを聞いたところ、「旅行・観光」(40.0%)が突出して高くなりました。コロナ禍が収束したら、友人や家族との旅行を満喫したいと考えている人が多いのではないのでしょうか。次いで高くなったのは、「外食」(22.1%)、「ライブ・コンサート」(18.7%)、「テーマパーク」(17.2%)、「飲み会」(17.0%)でした。

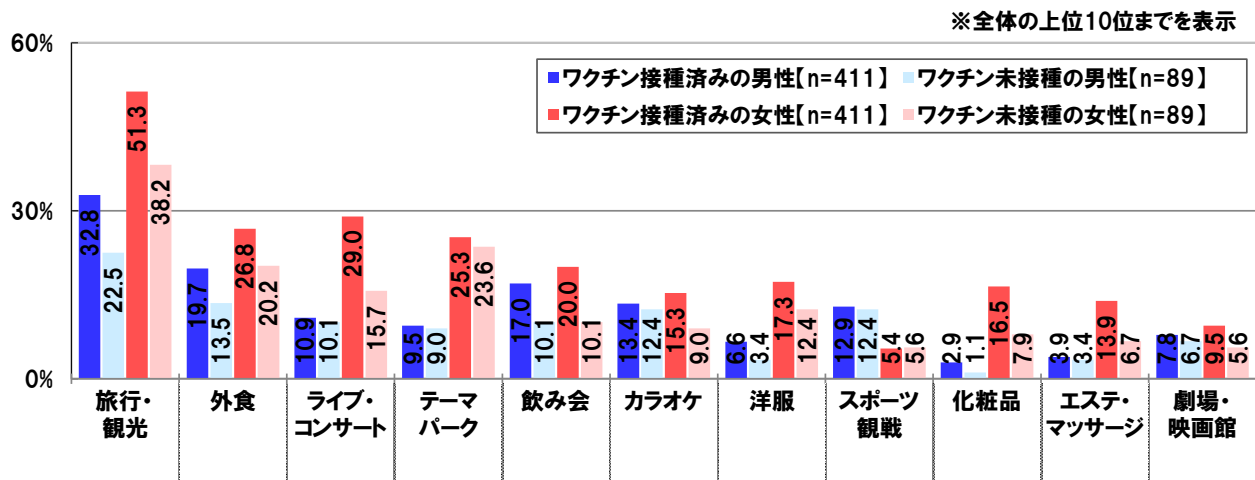
男女別にみると、女性では「旅行・観光」が49.0%、「ライブ・コンサート」が26.6%、「テーマパーク」が25.0%と、男性(順に31.0%、10.8%、9.4%)と比べて15ポイント以上高くなりました。

Q.コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいと思うものは？(複数回答)



新型コロナウイルスのワクチン接種状況別にみると、ワクチン接種済みの女性では「旅行・観光」が51.3%、「ライブ・コンサート」が29.0%と、他の層と比べて突出して高くなりました。

Q.コロナ禍のリベンジ消費でお金をかけたいと思うものは？(複数回答)

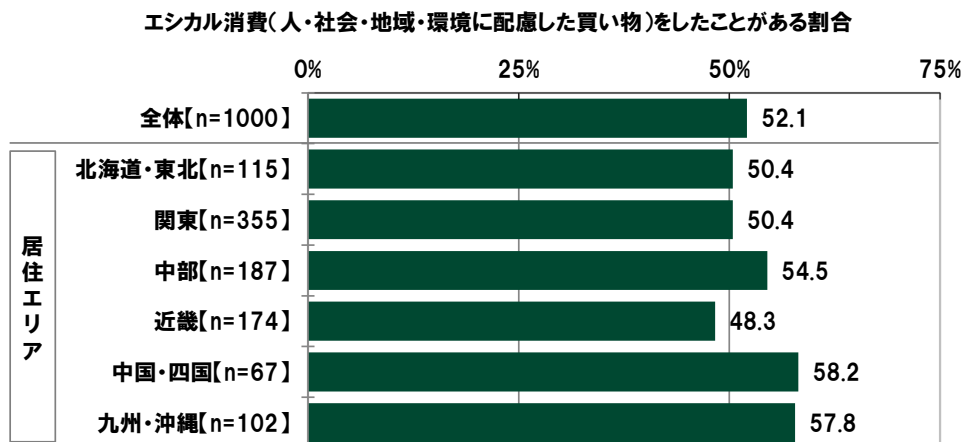


- ≫ 「エシカル消費をしたことがある」52.1%、中国・四国エリアと九州・沖縄エリアでは 60%弱
- ≫ エシカル消費として積極的に買いたいもの TOP2「リサイクル素材を使った商品」「地産地消になる商品」

エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)について質問しました。

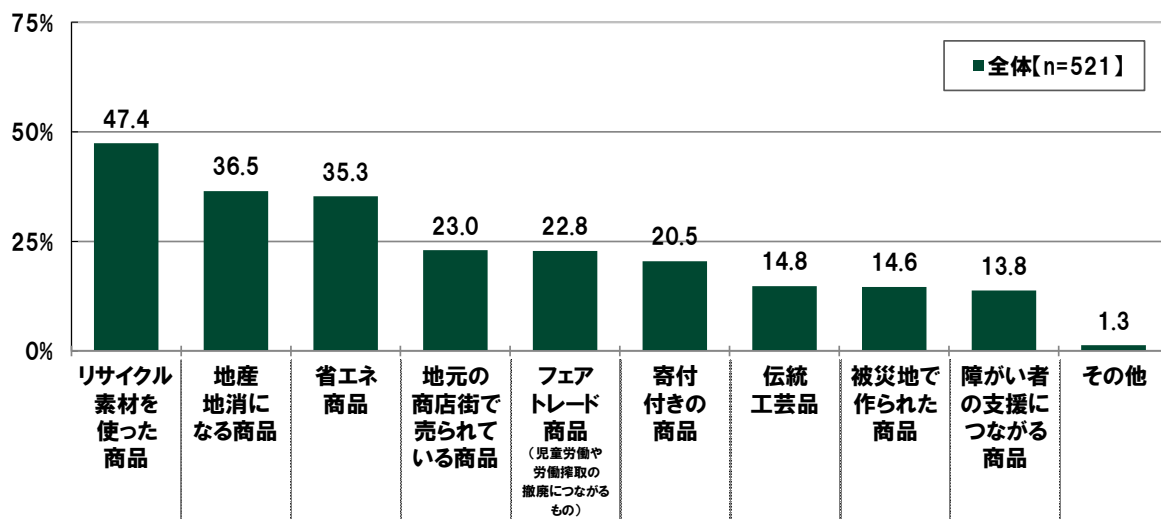
全回答者(1,000名)に、エシカル消費の経験を聞いたところ、エシカル消費をしたことがある人の割合は 52.1%でした。

エシカル消費をしたことがある人の割合を居住エリア別にみると、中国・四国(58.2%)と九州・沖縄(57.8%)が特に高く、約 6割となりました。



エシカル消費をしたことがある人(521名)に、エシカル消費として買ったことがあるものを聞いたところ、「リサイクル素材を使った商品」(47.4%)が最も高くなり、「地産地消になる商品」(36.5%)、「省エネ商品」(35.3%)、「地元の商店街で売られている商品」(23.0%)、「フェアトレード商品(児童労働や労働搾取の撤廃につながるもの)」(22.8%)が続きました。

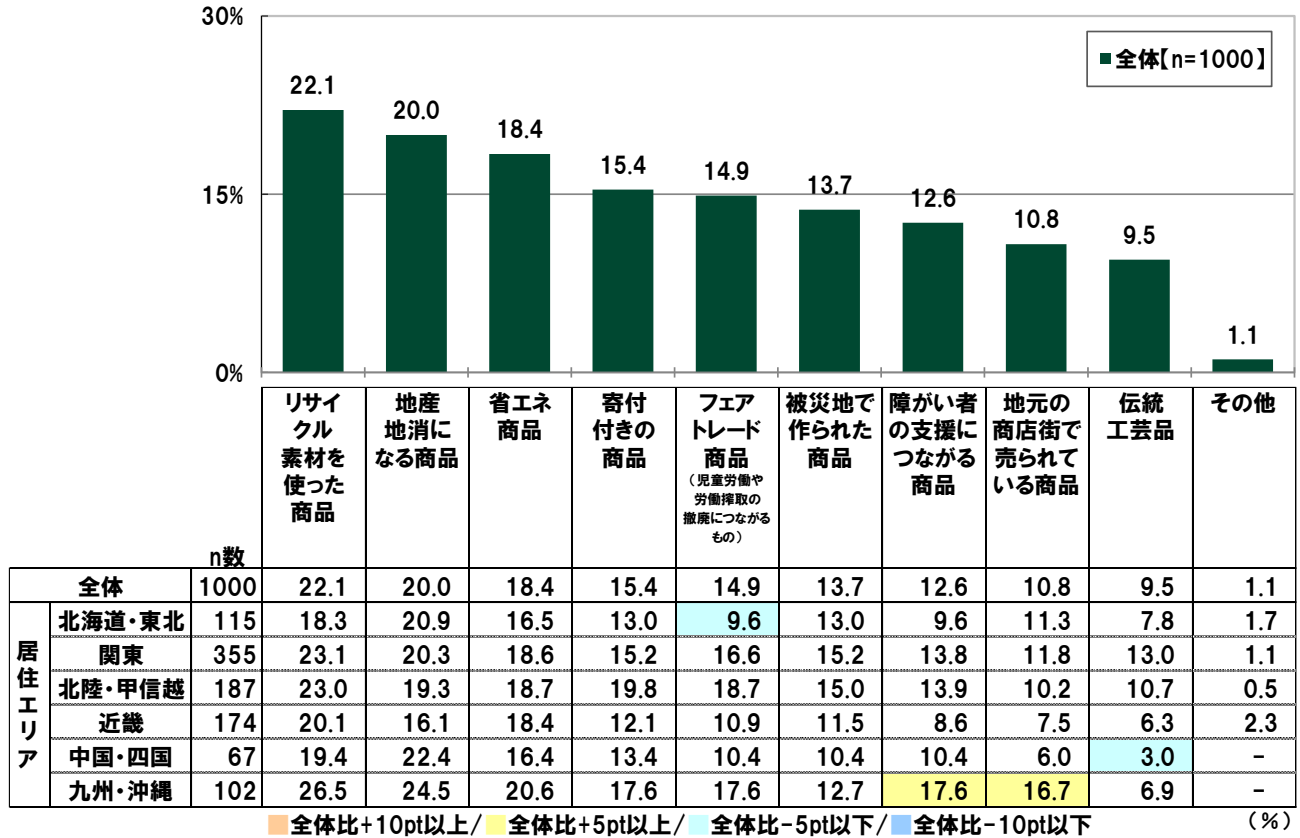
Q.エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)として買ったことがあるものは？(複数回答)
対象:エシカル消費をしたことがある人



また、全回答者(1,000名)に、エシカル消費として積極的に買いたいものを聞いたところ、「リサイクル素材を使った商品」(22.1%)が最も高くなり、「地産地消になる商品」(20.0%)、「省エネ商品」(18.4%)、「寄付付きの商品」(15.4%)、「フェアトレード商品(児童労働や労働搾取の撤廃につながるもの)」(14.9%)が続きました。

居住エリア別にみると、九州・沖縄では「障がい者の支援につながる商品」(17.6%)と「地元の商店街で売られている商品」(16.7%)が他のエリアと比べて高くなりました。

Q.エシカル消費(人・社会・地域・環境に配慮した買い物)として積極的に買いたいものは？(複数回答)

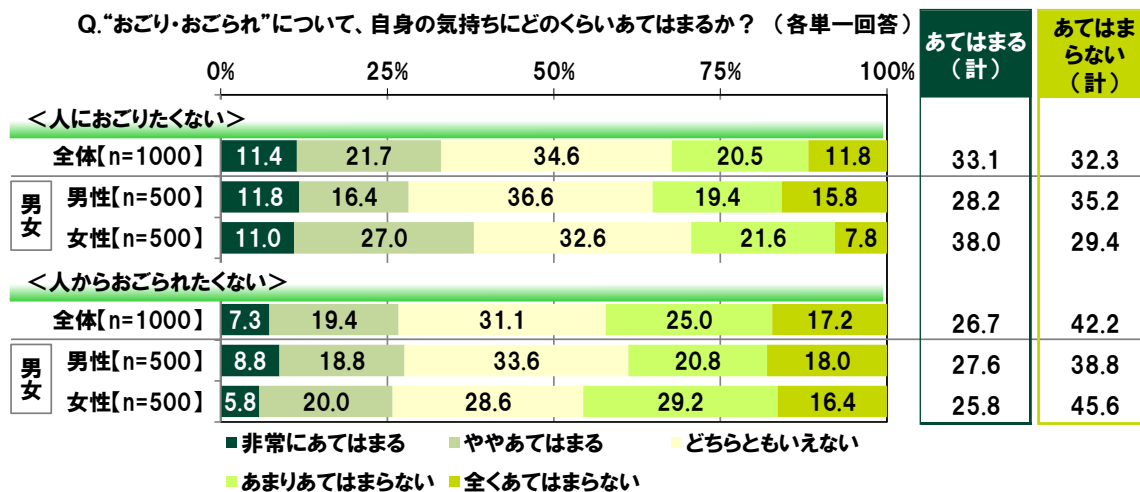


【20代のマネー意識】

- ≫ 20代の“おごり・おごられ”に対する意識 「人におごりたくない」33.1%、「人からおごられたくない」26.7%
- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない」52.3%、「金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない」63.5%

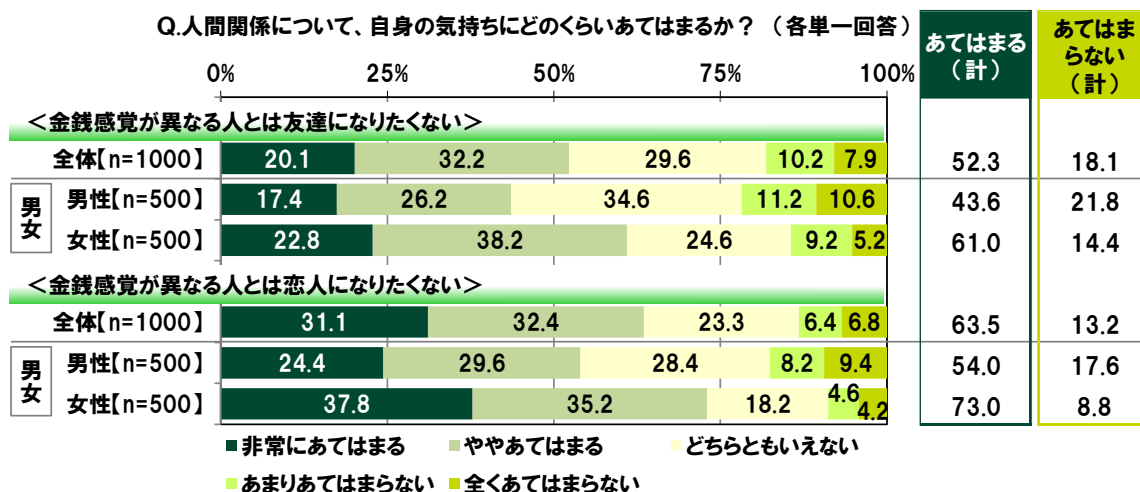
マネー意識について質問しました。

全回答者(1,000名)に、“おごり・おごられ”に対する意識を聞いたところ、<人におごりたくない>では「非常にあてはまる」が11.4%、「ややあてはまる」が21.7%で、合計した『あてはまる(計)』は33.1%となり、<人からおごられたくない>では『あてはまる(計)』は26.7%となりました。20代には、“おごり・おごられ”の関係を望まない人が少ないようです。



金銭感覚と人間関係についての意識を聞いたところ、<金銭感覚が異なる人とは友達になりたくない>では『あてはまる(計)』は52.3%、<金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくない>では『あてはまる(計)』は63.5%となりました。金銭感覚が合わない人と親しくなることで生じる衝突を避けたいと考えている人が多いのではないのでしょうか。

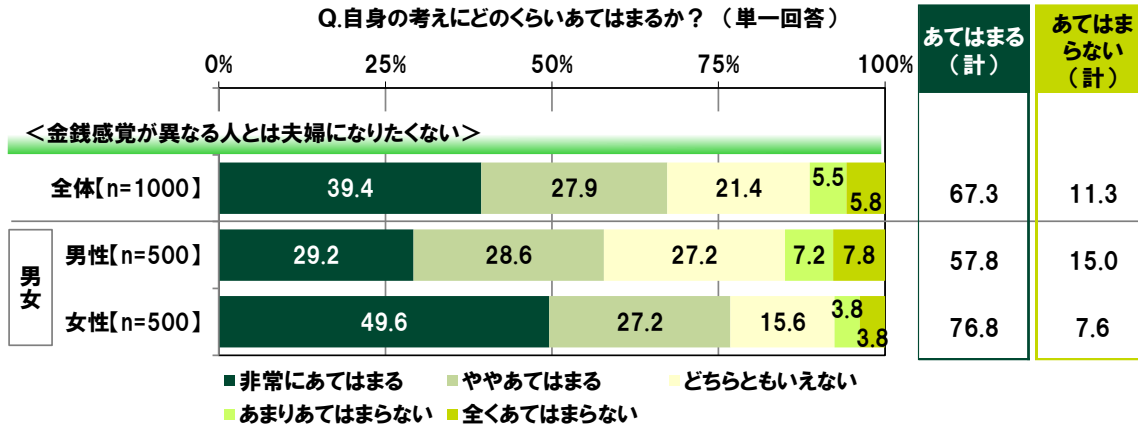
男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは友達になりたくないと回答した人の割合が61.0%、金銭感覚が異なる人とは恋人になりたくないと回答した人の割合が73.0%と、男性(順に43.6%、54.0%)と比べて20ポイント近く高くなりました。



- ≫ 「金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない」67.3%、女性では 76.8%
- ≫ お金と幸せの関係についての意識 20代の74.6%が「幸せになるにはお金が必要」と回答

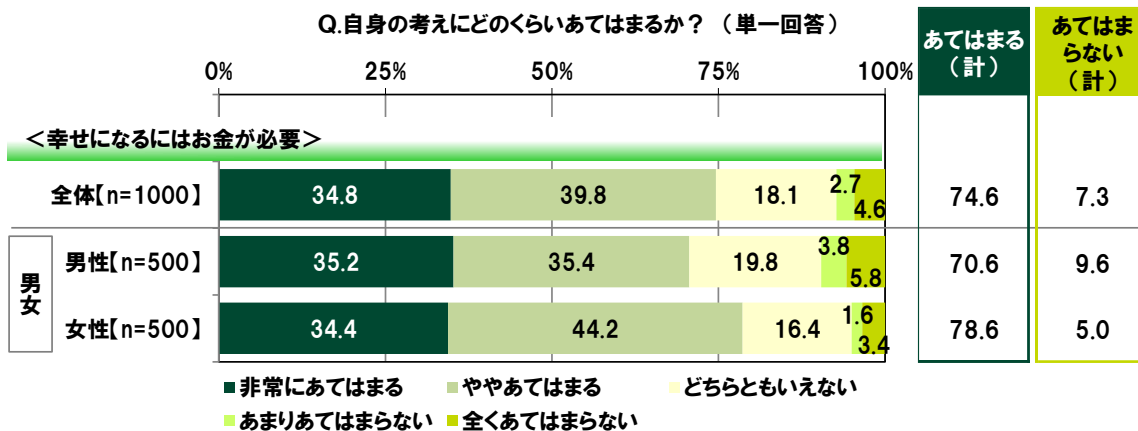
また、＜金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくない＞では『あてはまる(計)』は67.3%となりました。

男女別にみると、女性では、金銭感覚が異なる人とは夫婦になりたくないと回答した人の割合が76.8%と、男性(57.8%)と比べて19.0ポイント高くなりました。女性には、金銭感覚のズレは夫婦喧嘩の原因となると考えている人が多いのではないのでしょうか。



さらに、お金と幸せの関係についての意識を聞いたところ、＜幸せになるにはお金が必要＞では『あてはまる(計)』は74.6%となりました。

男女別にみると、女性では、幸せになるにはお金が必要と回答した人の割合が78.6%と、男性(70.6%)と比べて8.0ポイント高くなりました。



【ライフイベントと収入事情】

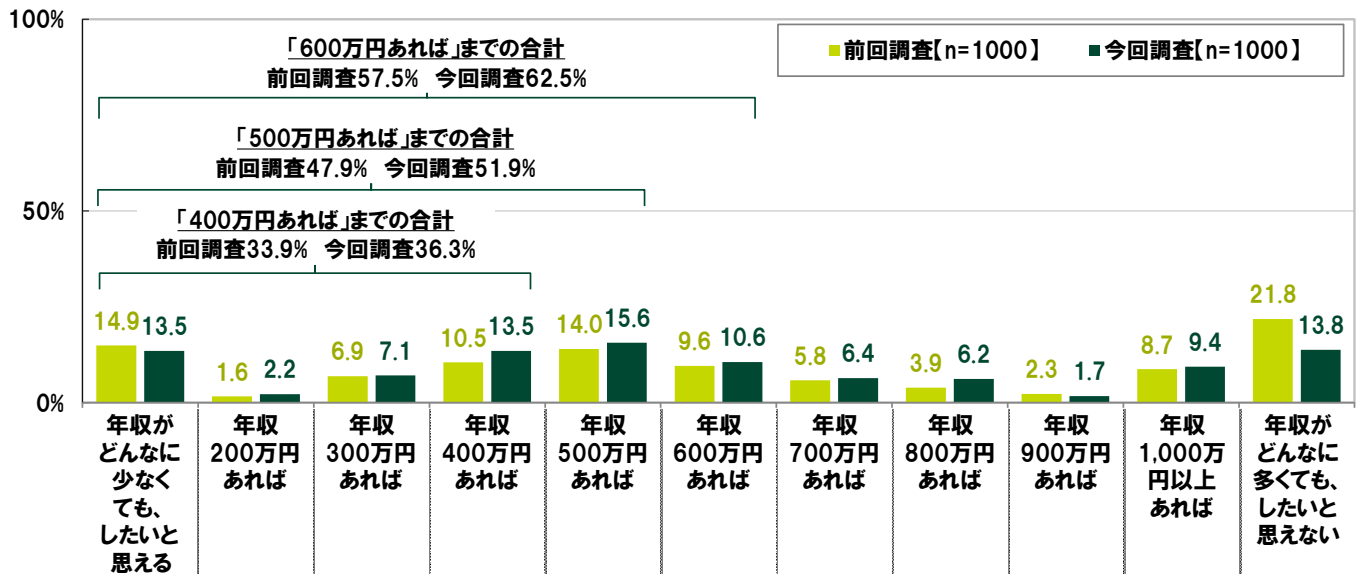
- ≫ 20代の半数以上が結婚しようと思えるのは「年収500万円」、前回調査からハードルが下降
- ≫ 「年収がどんなに多くても結婚したいと思えない」13.8%、前回調査から8.0ポイントの大幅下降

ライフイベントと年収の関係について質問しました。

全回答者(1,000名)に、結婚しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収400万円以下でしようと思える割合(「年収400万円あれば」までの合計)は36.3%、年収500万円以下でしようと思える割合(「年収500万円あれば」までの合計)は51.9%、年収600万円以下でしようと思える割合(「年収600万円あれば」までの合計)は62.5%となりました。20代の半数以上が結婚をイメージできるのは年収500万円であることがわかりました。

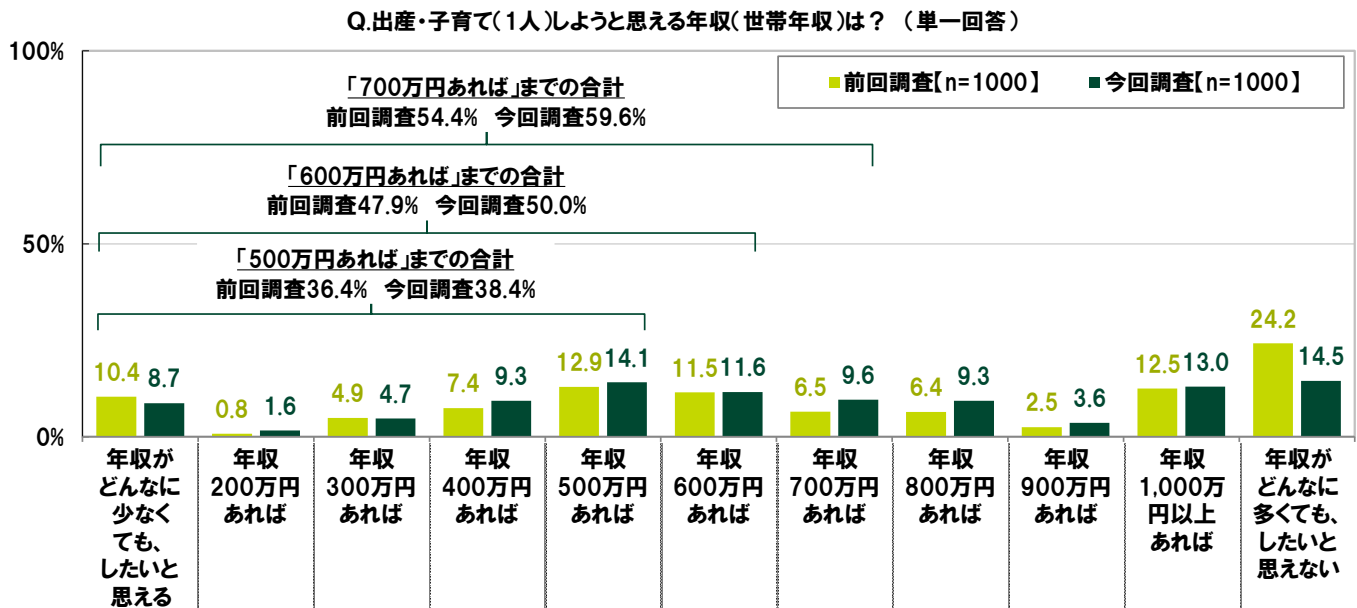
前回の調査結果と比較すると、半数以上が結婚しようと思えるのは前回調査では年収600万円(57.5%)だったのに対し、今回調査では年収500万円(51.9%)となり、結婚へのハードルが下降する結果となりました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」と回答した人の割合は、前回調査21.8%→今回調査13.8%と、8.0ポイントの下降となりました。

Q.結婚しようと思える年収(世帯年収)は？(単一回答)



>> 20代の半数以上が1人目の子育てに前向きになるのは「年収600万円」、前回調査からハードルが下降

出産・子育て(1人)しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収700万円(54.4%)だったのに対し、今回調査では年収600万円(50.0%)となり、結婚と同様に出産・子育てに対するハードルも下がる結果となりました。また、「年収がどんなに多くても、したいと思えない」と回答した人の割合は、前回調査24.2%→今回調査14.5%と、こちらも下降しました。

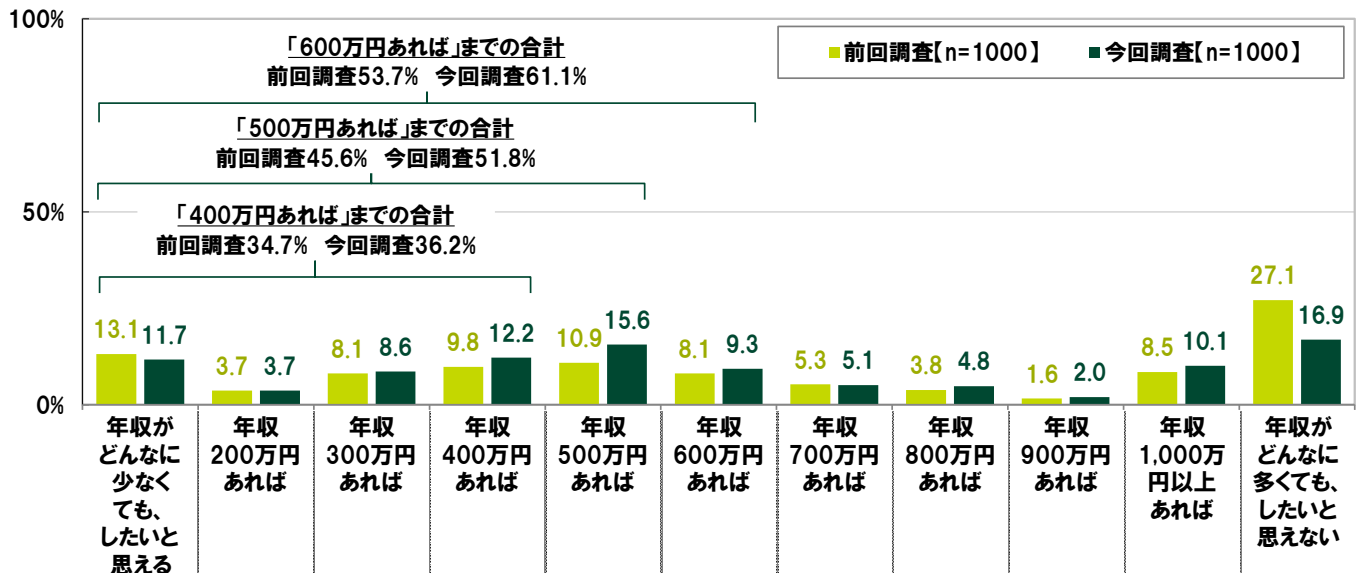


- 20代の半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは「年収 500 万円」、前回調査からハードルが下降
- 20代の半数以上が住宅を購入しようと思えるのは「年収 800 万円」、前回調査からハードルが下降

自家用車を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、年収 400 万円でしょうと思える割合は 36.2%、年収 500 万円でしょうと思える割合は 51.8%と、半数以上が自家用車の購入をイメージできるのは年収 500 万円となりました。

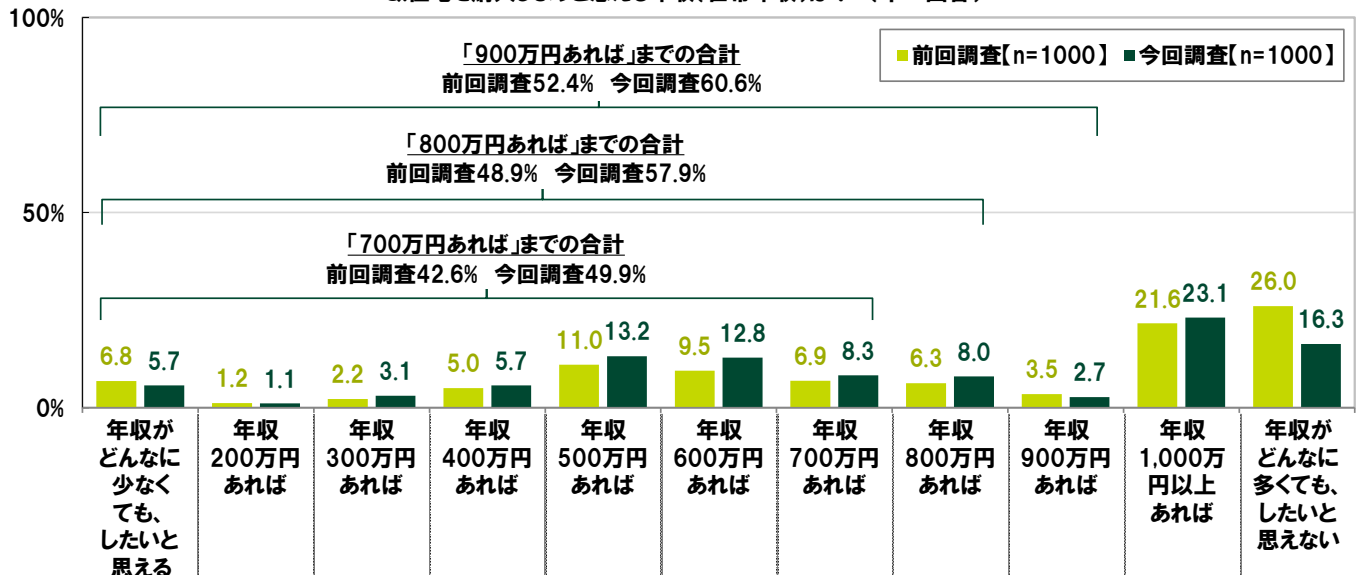
前回の調査結果と比較すると、半数以上が自家用車を購入しようと思えるのは前回調査では年収 600 万円 (53.7%) だったのに対し、今回調査では年収 500 万円 (51.8%) と、ハードルが下がる結果となりました。

Q.自家用車を購入しようと思える年収(世帯年収)は？ (単一回答)



また、住宅を購入しようと思える世帯年収額を聞いたところ、20 代の半数以上がイメージできるのは、前回調査では年収 900 万円 (52.4%) だったのに対し、今回調査では年収 800 万円 (57.9%) と、こちらもハードルが下がりました。

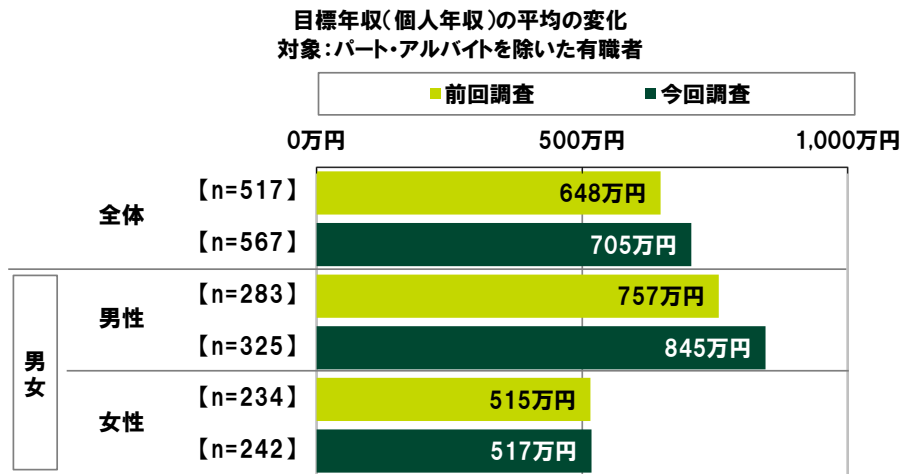
Q.住宅を購入しようと思える年収(世帯年収)は？ (単一回答)



- 20代有職者の目標年収は平均705万円、前回調査から57万円増加
- 20代有職者が管理職になってもいいと思える年収は平均907万円、前回調査から50万円増加

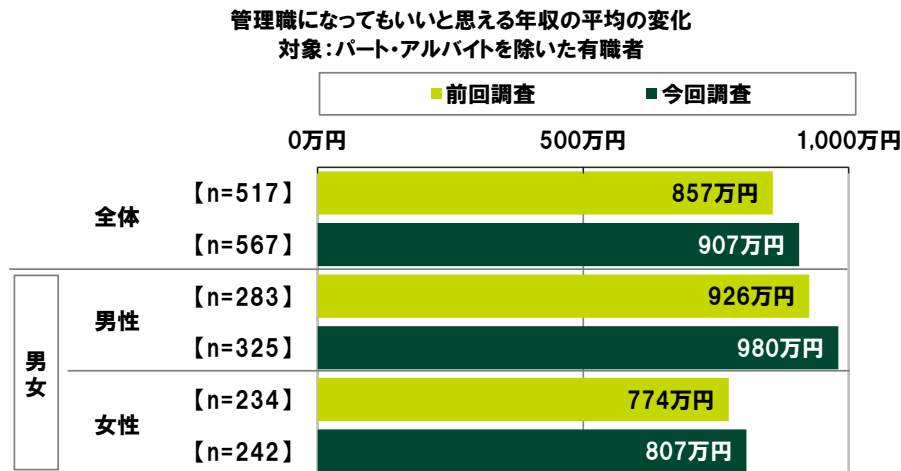
パート・アルバイトを除いた有職者(567名)に、目標年収(個人年収)を聞いたところ、平均は705万円で、男女別にみると、男性では845万円、女性では517万円でした。

前回の調査結果と比較すると、目標年収の平均は、57万円の増加(前回調査648万円→今回調査705万円)となりました。男女別にみると、男性では88万円の増加(前回調査757万円→今回調査845万円)、女性では2万円の増加(前回調査515万円→今回調査517万円)となりました。



また、管理職になってもいいと思える年収を聞いたところ、平均は907万円で、男女別にみると、男性では980万円、女性では807万円でした。

前回の調査結果と比較すると、管理職になってもいいと思える年収の平均は、50万円の増加(前回調査857万円→今回調査907万円)となりました。男女別にみると、男性では54万円の増加(前回調査926万円→今回調査980万円)、女性では33万円の増加(前回調査774万円→今回調査807万円)となりました。

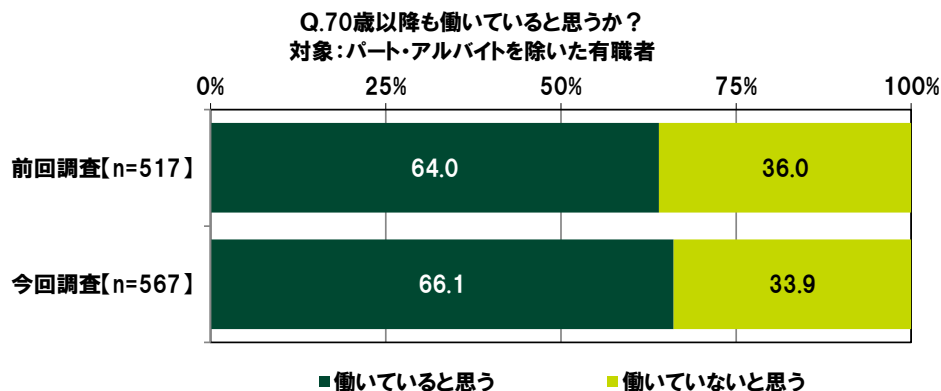


>> 「70歳以降も働いていると思う」20代有職者の3人に2人
 働いていると思う理由 1位「働かないと生活費が足りないと思うから」

70歳以降の就労について、どのように考えている人が多いのでしょうか。

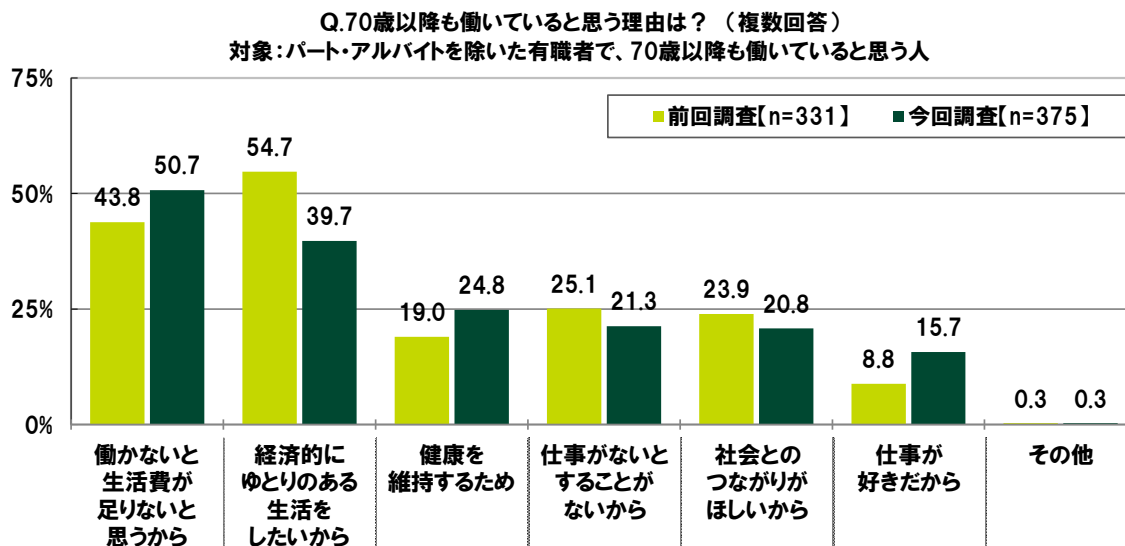
パート・アルバイトを除いた有職者(567名)に、70歳以降も働いていると思うか聞いたところ、「働いていると思う」は66.1%、「働いていないと思う」は33.9%となりました。

前回の調査結果と比較すると、70歳以降も働いていると思う人の割合は、前回調査64.0%→今回調査66.1%と、2.1ポイントの上昇となりました。



70歳以降も働いていると思う人(375名)に、そう思う理由を聞いたところ、「働かないと生活費が足りないと思うから」(50.7%)が最も高くなり、「経済的にゆとりのある生活をしたいから」(39.7%)、「健康を維持するため」(24.8%)、「仕事がないとすることがないから」(21.3%)、「社会とのつながりがほしいから」(20.8%)、「仕事が好きだから」(15.7%)が続きました。

前回の調査結果と比較すると、「働かないと生活費が足りないと思うから」は前回調査では2位だったのに対し、今回調査では1位となりました。自身の老後の生活に対する不安の高まりが見て取れます。コロナ禍の長期化によって、若年層の将来への漠然とした不安感が増しているのではないのでしょうか。



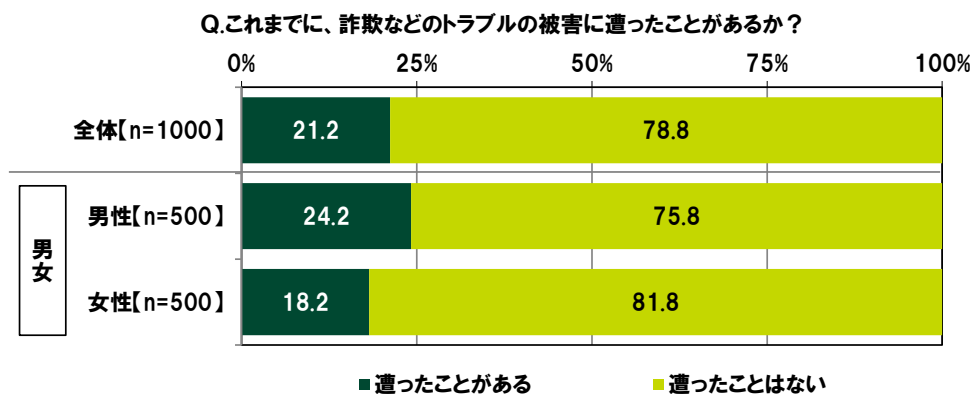
【20代のマネートラブル経験と金融リテラシー】

- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある」20代の5人に1人
 経験した詐欺被害 TOP4 は「マルチ商法・ねずみ講」「ワンクリック詐欺」「無料商法」「ネットオークション詐欺」
- ≫ 「詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある」20代の3人に1人

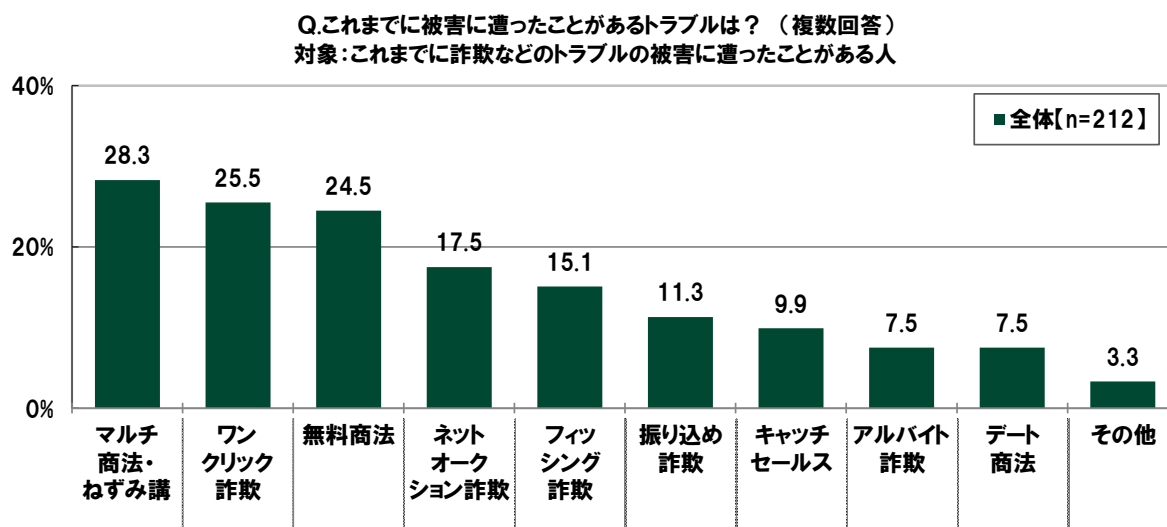
詐欺などのお金に関するトラブルについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがあるか聞いたところ、「遭ったことがある」は21.2%、「遭ったことはない」は78.8%となりました。

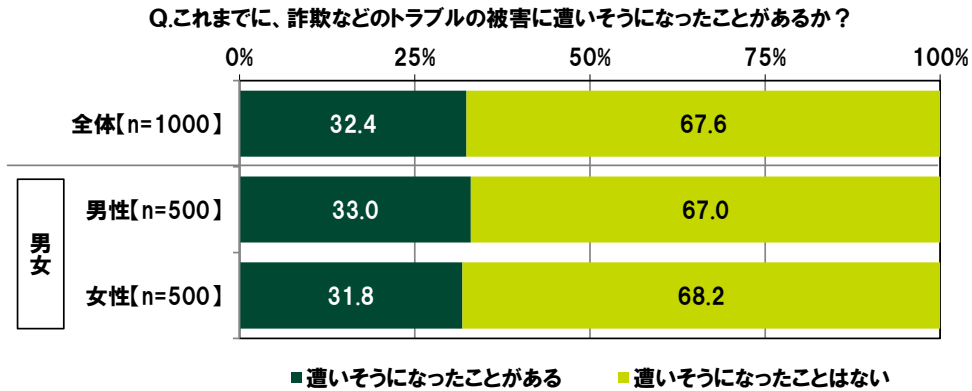
詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人の割合は、男性では24.2%と、女性(18.2%)と比べて6.0ポイント高くなりました。



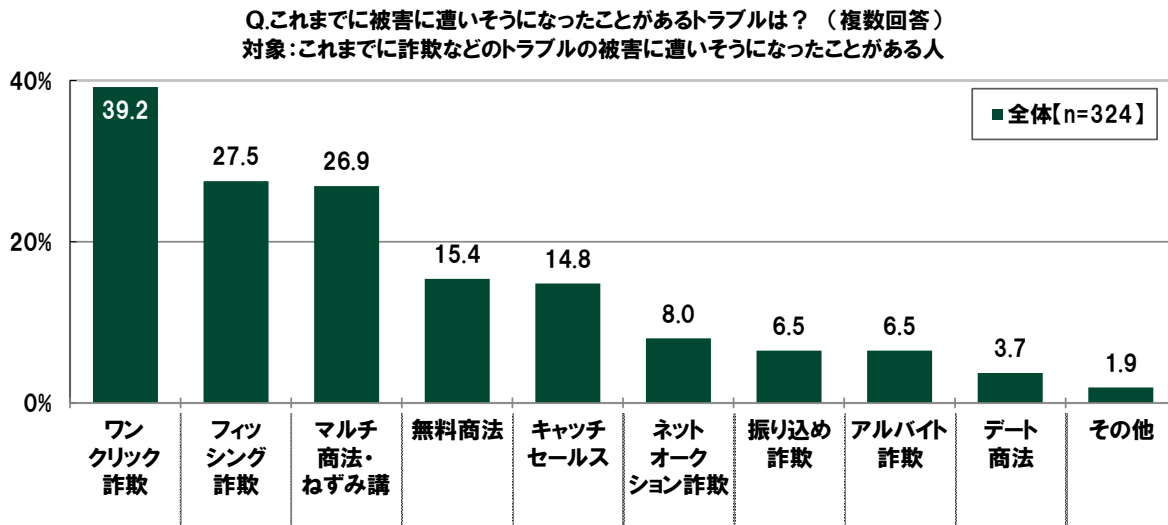
これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭ったことがある人(212名)に、被害に遭ったことがあるトラブルを聞いたところ、「マルチ商法・ねずみ講」(28.3%)が最も高くなり、「ワンクリック詐欺」(25.5%)、「無料商法」(24.5%)、「ネットオークション詐欺」(17.5%)、「フィッシング詐欺」(15.1%)が続きました。



また、全回答者(1,000名)に、これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがあるか聞いたところ、「遭いそうになったことがある」は32.4%、「遭いそうになったことはない」は67.6%となりました。



これまでに、詐欺などのトラブルの被害に遭いそうになったことがある人(324名)に、被害に遭いそうになったトラブルを聞いたところ、「ワンクリック詐欺」(39.2%)が突出して高くなりました。ワンクリック詐欺は、Webサイトや電子メールに記載されたURLを一度クリックしただけで、一方的に契約成立を宣言され、多額の料金の支払いを求められるという詐欺です。最近はその手口が特に巧妙になっているため、注意が必要です。20代には、インターネット利用時に、危うくだまされそうになったという人が多いようです。次いで高くなったのは、「フィッシング詐欺」(27.5%)、「マルチ商法・ねずみ講」(26.9%)、「無料商法」(15.4%)、「キャッチセールス」(14.8%)でした。



>> 10代のうちに学んでおけばよかったと思うお金の知識

TOP5「資産形成・資産運用」、「生活設計」、「保険・リスク管理」、「ローン・クレジットの仕組み」、「家計管理」

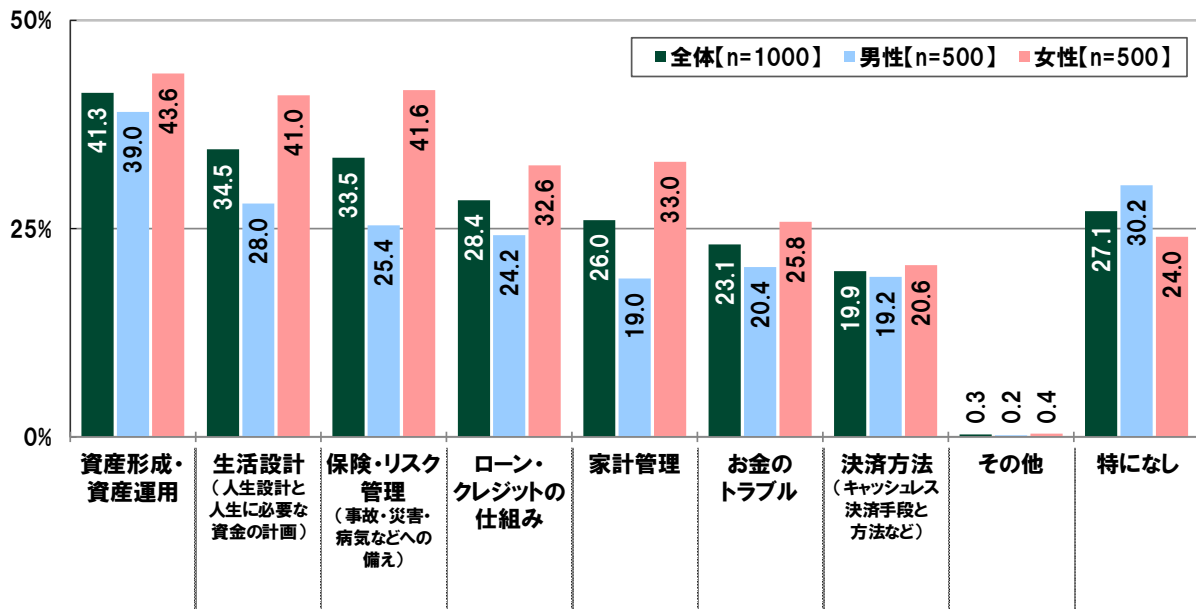
お金に関する知識を正しく身につけることで、金融トラブルを回避したり、お金に対する不安を和らげたりすることができます。

全回答者(1,000名)に、10代のうちに学んでおけばよかったと思うお金の知識を聞いたところ、「資産形成・資産運用」(41.3%)が最も高くなり、「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」(34.5%)、「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」(33.5%)、「ローン・クレジットの仕組み」(28.4%)、「家計管理」(26.0%)が続きました。

男女別にみると、女性では「生活設計(人生設計と人生に必要な資金の計画)」が41.0%、「保険・リスク管理(事故・災害・病気などへの備え)」が41.6%、「家計管理」が33.0%と、男性(順に28.0%、25.4%、19.0%)と比べて10ポイント以上高くなりました。

2022年4月より成年年齢が18歳に引き下げられ、親の同意を得ずに様々な契約を行うことができるようになります。若者を狙った悪徳商法や詐欺を防ぐためにも、10代から金融商品に対する契約の基本的な考え方や消費者トラブルなどの「お金の知識」について学ぶ機会が必要となります。

Q.10代のうちに学んでおけばよかったと思うお金の知識は？（複数回答）



《調査概要》

- ◆調査タイトル : 20代の金銭感覚についての意識調査 2022
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～29歳の男女
- ◆調査期間 : 2021年12月3日～4日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル

(内訳)	20代前半	20代後半
男性	250	250
女性	250	250

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本リリースの内容の転載にあたりましては、
「SMBC コンシューマーファイナンス調べ」と付記のうえ、
ご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 担当 : 広報サステナビリティ推進部 呉藤・佐藤
 TEL : 03-6887-1274
 Eメール : corporate_info@smbc-cf.com
 受付時間 : 9時00分～17時30分(月～金)

■■会社概要■■

会社名 : SMBC コンシューマーファイナンス株式会社
 (英訳名 SMBC Consumer Finance Co., Ltd.)
 設立 : 1962年(昭和37年)3月20日
 代表者名 : 金子 良平
 所在地 : 東京都江東区豊洲二丁目2番31号
 事業内容 : 貸金業・保証業